

下野市環境基本計画 令和元年度 実績報告

【第IV編】

市の取組

第IV編 市の取組

| 番号 | 取組 | 内容 | 担当課 |
|----|---------------------------------------|--|-------|
| 1 | 1-1-1 ① 生物多様性への理解の向上 | ・生物多様性についての環境学習会、自然観察会、見学会など、市民団体と連携した啓発事業を継続的に進めていきます。 | 農政課 |
| 2 | 1-1-1 ② 生物多様性の調査 | ・本市や周辺地域の野生動物の生育・生息状況について調査を進め、生物多様性に関する情報の蓄積と整備に努めていきます。 | 農政課 |
| 3 | 1-1-1 ③ 生物多様性の保全と再生 | ・平地林・里山・水辺の保全・再生と一体的に生息環境の保全・再生を進めていきます。 | 農政課 |
| 4 | | ・水辺や水生生物の生息環境の保全と再生に配慮した河川の保全管理などに努めていきます。 | 建設課 |
| 5 | | ・特定外来生物などの外来種調査と対策をはじめ、有害鳥獣被害対策などを進めていきます。 | 農政課 |
| 6 | 1-1-2 ① 平地林・屋敷林の保全と管理 | ・実態調査を踏まえ平地林マップを作成し、本市の平地林の情報発信、マップをもとにした平地林保全管理・整備活動を進めます。 | 農政課 |
| 7 | | ・元気な森づくり推進事業による平地林の保全と管理を進めていきます。また、関連するエコイベントや保全活動を進めていきます。 | 農政課 |
| 8 | 1-1-3 ① 自然とのふれあい空間(場)の整備 | ・日常生活の中で自然とふれあえる場の整備を進めていきます。 (例)・河川敷での菜の花・シモツケ草の植栽、桜ロードづくり、農地の景観形成(ひまわり、コスモス)事業、市民農園など、都市と農村の交流が図れる場の提供 | 農政課 |
| 9 | 1-2-1 ① 水環境の啓発 | ・水環境や水道の重要性についての啓発など、水環境に対する理解と環境配慮を進めていきます。 | 水道課 |
| 10 | 1-2-1 ② 水循環機能(地下水かん養・保水機能など)の保全・再生 | ・地域の健全な水循環を支える平地林や農地、水辺の環境保全機能の保全と向上に努めていきます。また、雨水の地下浸透対策を進めていきます。 (例)・地下水かん養機能や雨水の保水機能、自然浄化機能などの保全と向上 ・道路や歩道、駐車場などの透水性舗装、宅地や市街地での雨水浸透槽の設置など | 建設課 |
| 11 | 1-2-1 ③ 国・県及び流域市町村との連携の推進 | ・国や県、周辺市町と連携し、水質の監視と改善など河川の保全管理や、地盤沈下防止に向けた取組を進めていきます。 | 建設課 |
| 12 | | ・国や県、周辺市町と連携し、水質の監視と改善など河川の保全管理や、地盤沈下防止に向けた取組を進めていきます。 | 環境課 |
| 13 | 1-2-2 ① 水道水源の保全 | ・水道水源の保全を進めていきます。 | 水道課 |
| 14 | | ・農業の適正使用徹底や減農薬の推進など、農業や化学肥料散布に伴う環境負荷の低減を進めていきます。 | 農政課 |
| 15 | 1-2-2 ② 節水や雨水の有効活用など水資源の保全 | ・使用水の循環利用・雨水貯留槽や雨水タンクによる雨水の有効活用などを進めていきます。 | 総務人事課 |
| 16 | 1-3-1 ① 地産地消の推進 | ・地産地消に関する情報の発信、消費者と生産者の交流づくりを進めていきます。 | 健康増進課 |
| 17 | | ・地産地消に関する情報の発信、消費者と生産者の交流づくりを進めていきます。 | 商工観光課 |

| | | | |
|----|------------------------------|--|-------|
| 18 | | ・地産地消に関する情報の発信、消費者と生産者の交流づくりを進めていきます。 | 農政課 |
| 19 | | ・農畜産物などの加工・販売・PRの支援を進め、農業の6次産業化を図っていきます。 | 農政課 |
| 20 | 1-3-1 ② 食のブランド化 | ・下野市産農畜産物のブランド化や地域特産品の生産と普及を支援していきます。 | 農政課 |
| 21 | | ・下野市産農畜産物のブランド化や地域特産品の生産と普及を支援していきます。 | 商工観光課 |
| 22 | 1-3-1 ③ 観光推進による地域資源の活用と保全 | ・自然、歴史・文化遺産、特産品や環境に配慮した取組を「魅力ある観光資源」として有効活用し、観光の振興を図っていきます。 | 商工観光課 |
| 23 | 1-3-2 ① 環境保全型農業の推進 | ・安全・安心な農産物の持続的な生産を支える農地・水・環境の保全と向上のため、農薬などの適正使用の徹底や減農薬など環境保全型農業推進事業を進めていきます。 | 農政課 |
| 24 | 1-3-2 ② 環境に配慮した事業活動の推進 | ・公共事業や開発などの立案・実施に際して、稀少な動植物の生息環境の保護・保全、良好な自然環境の保全と再生など、計画段階からの環境配慮と適切な対策の推進に努めていきます。 | 都市計画課 |
| 25 | 1-4-1 ① 歴史的・文化的環境の保全と啓発 | ・歴史・文化遺産及び周辺の自然環境や歴史的・文化環境の保存と活用を進め、地域の歴史文化を発信していきます。 | 文化財課 |
| 26 | | ・史跡の清掃活動や各種イベントの開催など、地域の歴史文化とふれあえる機会の充実と啓発を進めていきます。 | 文化財課 |
| 27 | 1-4-1 ② 自然共生の歴史や文化の発信 | ・ボランティアによる各種イベントの開催、市内に伝えられてきた伝説や民話、くらしの知恵などの収集と発信など下野ふるさと大発見の取組を進めていきます。 | 学校教育課 |
| 28 | 1-4-2 ① 良好な景観の保全、景観の発見 | ・地域の良好な景観を発見し、景観の保全と活用を努めていきます。また、しもつけの自然環境や歴史、文化、くらしや産業に対する理解の形成を図っていきます。 | 商工観光課 |
| 29 | | ・都市計画マスタープランや関係計画による良好なまちなみの保全と創造を進めていきます。 | 都市計画課 |
| 30 | 1-4-2 ② 個性豊かなまちなみ整備、景観づくり | ・地域の個性あるまちなみづくりを支援していきます。 (例)・地域の特性を踏まえた生垣づくりの奨励、電線の地下埋設化 ・自治会の花の選定、花木の植栽、フラワーロードづくりなど ・公園やサイクリングロードの整備など | 建設課 |
| 31 | | ・畦畔や水辺などでのひまわり、コスモスの植栽など、農地の景観づくりを進めていきます。 | 農政課 |
| 32 | 2-1-1 ① 大気環境の保全 | ・県による大気環境の測定への協力、県との連携による事業所への指導徹底に努め、ダイオキシン類、ベンゼンなど有害大気汚染物質の適正管理について啓発と対策を進めていきます。 | 環境課 |
| 33 | | ・低環境負荷型自動車の公用車への計画的な導入と普及、エコドライブの普及を進めていきます。 | 総務人事課 |
| 34 | | ・幹線道路及び生活道路の整備など、円滑な交通の流れの形成による環境負荷の低減を進めていきます。 | 建設課 |
| 35 | | ・アスベスト問題に対する情報提供など市民・事業者への周知、建築物の解体及び廃棄に際しての法令周知と遵守に努めていきます。 | 環境課 |

| | | | |
|----|---|--|-------|
| 36 | 2-1-1 ② 騒音・振動、 悪臭など生活公 害対策の推進 | ・生活道路などの道路騒音対策を進めていきます。 | 建設課 |
| 37 | | ・生活道路などの道路騒音対策を進めていきます。 | 環境課 |
| 38 | | ・近隣騒音・振動の防止に向けた啓発、公共施設での騒音・振動対策、特定事業所や特定建設作業への公害関係法の順守や指導の徹底に努めていきます。 | 環境課 |
| 39 | | ・事業所からの悪臭防止対策への指導、戸別配水処理施設や水路・側溝などの悪臭対策を進めていきます。 | 環境課 |
| 40 | | ・堆肥化施設の管理及び堆肥散布の適正化、家畜排泄物の適正管理と環境保全対策を進めていきます。 | 農政課 |
| 41 | | ・良好なまちなみの形成やエネルギー消費量の低減、ホテルなど野生生物の生息環境の保全に向け、過剰な電飾看板の抑制、夜間照明の適正化と間引き照明などの啓発を進めていきます。 | 建設課 |
| 42 | 2-1-1 ③ 水質汚濁の 防止 | ・県と連携した河川・水路などの水質調査や監視の強化、公共施設からの放流水質の適正管理、工場・事業所への排水検査の徹底や排水対策の指導の徹底に努めていきます。 | 環境課 |
| 43 | | ・生活排水対策として、下水道加入促進のための啓発、浄化槽の活用・維持管理徹底、し尿及び浄化槽汚泥の有効活用などを進めます。 | 下水道課 |
| 44 | | ・生活排水対策として、下水道加入促進のための啓発、浄化槽の活用・維持管理徹底、し尿及び浄化槽汚泥の有効活用などを進めます。 | 環境課 |
| 45 | 2-1-1 ④ 土壌・地下水 汚染の防止 | ・県との連携により土壌・地下水汚染状況を把握し、有害物質の埋立てや堆積による土壌の汚染や土砂などの崩落、飛散・流出による災害の発生への防止に向けた規制と監視を充実させて事業所への指導を進めていきます。 | 環境課 |
| 46 | 2-1-2 ① 県・関係市町 との連携による 環境の監視と指 導の推進 | ・国、県と連携し大気や水質などの環境状況調査や調査結果などの情報提供を進め、事故発生時などの環境汚染の監視・調査、事業所への指導徹底に努めていきます。 | 環境課 |
| 47 | 2-1-2 ② 関係市町と の連携による環 境保全対策の 推進 | ・事業所の事故や汚染物質の不適正管理などによる汚染物質の漏洩、異常水の発生などに際しては、関係機関との連携による拡大防止に努めていきます。 | 環境課 |
| 48 | | ・新幹線沿線の騒音・振動測定を実施し、関係自治体と連携によるJRへの騒音対策などの要望を進めていきます。 | 環境課 |
| 49 | 2-2-1 ① ごみの散乱 防止、不法投棄 の防止 | ・環境美化条例の周知と啓発、空き缶などのポイ捨て防止や自転車の放置の禁止、不法投棄防止パトロールの強化など不法投棄防止に努めていきます。 | 環境課 |
| 50 | 2-2-2 ① 歩道・遊歩道 の整備 | ・歩道や歩道と一体となった遊歩道及び散策路の確保など、歩行者通行に配慮した道路網整備を進めていきます。 | 建設課 |
| 51 | 2-2-2 ② 自転車道や 自転車通行帯の 確保 | ・自転車駐車場の管理、駅周辺での放置自転車対策を進めていきます。 | 安全安心課 |
| 52 | 2-2-2 ③ 安心して歩 ける歩行環境の 確保 | ・通学路の危険箇所の整備及びスクールガードボランティアの育成による子どもたちの通学路の安全確保に努めていきます。 | 教育総務課 |

| | | | |
|----|--------------------------------------|---|-------|
| 53 | | ・駅周辺におけるバリアフリーの整備、放置自転車の撤去など、安心して歩ける快適な歩行者通行の確保を図っていきます。 | 建設課 |
| 54 | 2-2-3 ① 自然災害への 認識共有 | ・防災マップなど、自然災害に関する情報提供を進めていきます。 | 安全安心課 |
| 55 | | ・地域の地形・地象、気象、自然災害の履歴など、自然環境の特性についての環境学習機会の充実と参加の促進、自然災害についての認識の共有化を図っていきます。 | 安全安心課 |
| 56 | 2-2-3 ② 適正な土地 利用の推進 | 市街地の空家増加に伴い、空家対策を進めていきます。 | 安全安心課 |
| 57 | 2-2-3 ③ 減災対策の 推進 | ・定期的な防災訓練や自治会単位の防災組織の整備、地域ごとの自主防災マップづくりや高齢者の独居世帯の把握と孤立させないネットワークづくりなど、災害に対する安全安心の確保を図っていきます。 | 安全安心課 |
| 58 | | ・定期的な防災訓練や自治会単位の防災組織の整備、地域ごとの自主防災マップづくりや高齢者の独居世帯の把握と孤立させないネットワークづくりなど、災害に対する安全安心の確保を図っていきます。 | 高齢福祉課 |
| 59 | | ・災害に強い安全なまちづくりを進めるため、木造住宅耐震診断及び木造住宅耐震改修の支援に努めていきます。 | 都市計画課 |
| 60 | | ・災害時廃棄物処理対策の確立に努めていきます。 (例)・災害廃棄物の一時仮置き場の確保 ・広域的な連携による災害廃棄物処理体制づくり ・他地域での災害発生時への速やかな支援体制整備など | 環境課 |
| 61 | 2-3-1 ① 放射線情報 の提供 | ・国・県や周辺市町と連携し、空間放射線測定やモニタリング結果の情報公開を進めていきます。 | 環境課 |
| 62 | | ・国・県や周辺市町と連携し、空間放射線測定やモニタリング結果の情報公開を進めていきます。 | 水道課 |
| 63 | | ・国・県や周辺市町と連携し、空間放射線測定やモニタリング結果の情報公開を進めていきます。 | 学校教育課 |
| 64 | 2-3-1 ② 環境汚染状 況の把握、除染 対策の推進 | ・食品など、事業者の自主的な放射性物質の測定と放射能表示を促進していきます。 | 教育総務課 |
| 65 | 3-1-1 ① ごみ減量意 識の普及・啓発 | ・ごみの減量・リサイクル、ごみ出しマナーやルールに関する情報の発信・提供を進め、市民等のごみ問題への関心とごみ減量意識の啓発、ごみ出しルールの徹底に努めていきます。 | 環境課 |
| 66 | 3-1-1 ② ごみになるも の削減 | 簡易包装、マイバッグ利用、レジ袋削減キャンペーンなどの実施により、ごみ削減への意識啓発を行います。 | 環境課 |
| 67 | 3-1-1 ③ 生ごみの発 生抑制と減量化 | ・家庭用生ごみ堆肥化への支援や剪定枝の分別収集などにより、ごみの堆肥化やエネルギー資源としての利用を推進します。 | 環境課 |
| 68 | 3-1-2 ① リユースの 推進、リユース 容器の活用 | ・家庭などで使用された家具や器具、衣類などの再使用を進めていきます。また、市民間でのリユース・リサイクルを促進していきます。 | 環境課 |
| 69 | 3-1-2 ② 家具や家電 など製品の修理 使用の推進 | ・小山広域保健衛生組合や事業者との連携協力により自転車や家具、家電、おもちゃを修理再生し再使用を進めていきます。 | 環境課 |
| 70 | 3-2-1 ① 分別の徹底 など | ・石橋地区と南河内・国分寺地区での分別内容の統一、分別のための勉強会・実施体験の開催など、分別収集内容の周知と分別の徹底に努めていきます。 | 環境課 |

| | | | |
|----|--------------------------------|--|-------|
| 71 | | ・行政カレンダーや分別マニュアル(分別早見表)などの作成と提供により、ごみ・資源物の分別排出の徹底を進めていきます。 | 環境課 |
| 72 | 3-2-1 ② 資源回収のしくみづくり・収集体制の構築 | ・自治会などの各団体による集団資源回収は、ごみの減量やリサイクルへの意識が高められることから、資源回収報償金制度による支援と広報誌による参加・実施の呼びかけを継続します。 | 環境課 |
| 73 | | ・公共施設を活用した拠点回収システムの検討と資源物の拠点回収を進めていきます。また、家庭から出た廃食用油など廃棄物のエネルギー資源として有効活用していきます。 | 環境課 |
| 74 | | ・ごみ出しが困難で近隣者の協力を得られない、高齢世帯や障害者に配慮したごみ収集を進めます。 | 高齢福祉課 |
| 75 | | ・分別収集品目ごとの収集量や排出状況などを踏まえ、家庭系ごみの適切な収集や運搬方法を検討していきます。収集運搬コストの削減に向けた効率的な収集運搬体制の整備を進めていきます。 | 環境課 |
| 76 | 3-2-1 ③ リサイクルプラザなどの整備 | ・ストックヤード及び粗大ごみ処理施設(リサイクルセンター)の整備を進めていきます。 | 環境課 |
| 77 | 3-2-2 ① 廃棄物処理への理解と向上 | ・小山広域保健衛生組合の一般廃棄物処理基本計画及びごみ処理施設建設基本構想、下野市一般廃棄物処理基本計画などの計画を推進していきます。また、社会情勢の変化などに対応した見直しを進めていきます。 | 環境課 |
| 78 | | ・廃棄物排出状況などの情報の提供、廃棄物処理に関する勉強会、見学会の開催と支援、廃棄物会計の公表など、市民、事業者への廃棄物処理対策への理解の向上に努めていきます。 | 環境課 |
| 79 | | ・公平なごみ処理費用の負担、排出者責任による処理をめざし、社会情勢や動向を踏まえ、家庭系ごみ有料化のあり方や有料化に合わせて実施すべき施策についての検討、事業系ごみについて周辺自治体の動向を踏まえた処理手数料改定の検討をおこないます。 | 環境課 |
| 80 | 4-1-1 ① 節電など省エネ意識の普及 | ・省エネナビなど家庭や家電の消費電力の把握(見える化など)を進め、節電など省エネ行動の普及と省エネチャレンジ意識の啓発を図っていきます。 (例) ・県主催省エネチャレンジにおける下野市分の取組結果の公表 ・環境家計簿の作成、節電アクション取組への表彰と事例発信など | 環境課 |
| 81 | | ・公共施設や事業所での電力管理システムの導入など、エネルギー使用の効率化、電力需要の抑制と節電、電力消費量の削減を進めていきます。 | 教育総務課 |
| 82 | | ・公共施設や事業所での電力管理システムの導入など、エネルギー使用の効率化、電力需要の抑制と節電、電力消費量の削減を進めていきます。 | 総務人事課 |
| 83 | 4-1-1 ② 省エネ行動(エコライフ)の推進 | ・省エネ講座や実践体験などのエコイベントや環境学習の場の提供、広報紙や市のホームページでの情報発信など省エネ意識の啓発をおこない、市民等と事業者の環境配慮(行動)指針(別添資料参照)による省エネ行動への取組を進めます。 | 環境課 |
| 84 | | ・事業者向け環境配慮(行動)指針及び下野市役所地球温暖化対策実行計画により、市役所及び関係施設での省エネ対策を進めます。 | 環境課 |
| 85 | | ・事業者向け環境配慮(行動)指針及び下野市役所地球温暖化対策実行計画により、市役所及び関係施設での省エネ対策を進めます。 | 総務人事課 |
| 86 | 4-1-2 ② 省エネ型製品の活用促進 | ・下野市グリーン調達推進方針による環境配慮物品などの調達を進めていきます。 | 環境課 |
| 87 | | ・市役所及び関連施設の発光ダイオード(LED)照明への切り替え、新たに建設する施設での導入を進めていきます。また、家庭や事業所での導入を進めていきます。 | 総務人事課 |
| 88 | | ・市役所及び関連施設の発光ダイオード(LED)照明への切り替え、新たに建設する施設での導入を進めていきます。また、家庭や事業所での導入を進めていきます。 | 安全安心課 |

| | | | |
|-----|-----------------------------------|---|-------|
| 89 | | ・市役所及び関連施設の発光ダイオード(LED)照明への切り替え、新たに建設する施設での導入を進めていきます。また、家庭や事業所での導入を進めていきます。 | 商工観光課 |
| 90 | 4-3-1 ② 緑に囲まれた環境負荷の少ないまちづくりの推進 | ・緑の豊かな環境負荷の少ないまちづくりを進めていきます。 | 都市計画課 |
| 91 | | ・緑化団体活動への補助、緑化の推進(緑の募金、苗木の配布、フォトコンテスト)など緑化推進事業を進めていきます。また、市民等による街路樹や公園の管理活動の推進と支援を進めていきます。 | 都市計画課 |
| 92 | | ・緑化団体活動への補助、緑化の推進(緑の募金、苗木の配布、フォトコンテスト)など緑化推進事業を進めていきます。また、市民等による街路樹や公園の管理活動の推進と支援を進めていきます。 | 農政課 |
| 93 | 4-3-2 ① 移動のエコ化 | ・市民等が気楽で安全に自転車を利用できるまちづくりを検討し、自転車利用環境の充実を進めていきます。 | 建設課 |
| 94 | | ・公共交通の利便性の向上、デマンドバス(お出かけ号)活用の普及、新交通システムの研究を進めていきます。 | 安全安心課 |
| 95 | 4-3-2 ② 施設・建物などの省エネ化 | ・道路、歩道、駐車場などの省エネルギー対策、環境負荷の少ない安全な歩行環境づくりを進めます。 | 建設課 |
| 96 | 5-1-1 ① 環境教育の推進・支援 | ・関係機関と連携し、環境に係る学校教育のサポートを進めていきます。また、自然とふれあえる学習や特色ある環境教育活動を推進していきます。 | 学校教育課 |
| 97 | | ・給食への安全・安心な下野市産農畜産物の活用や家庭におけるリユースビンの活用など、家庭と学校が連携した食育を進めていきます。 | 学校教育課 |
| 98 | | ・しもつけの環境と環境学習に関する調査研究、教職員研修、社会科副読本などの編集など、教育研究所の運営を進めていきます。 | 学校教育課 |
| 99 | 5-1-2 ① 環境保全活動への参加促進 | ・市民団体や関係機関との連携(環境ネットワーク)を強化し、環境保全活動に関する情報を発信することにより市民等の環境保全活動への参加を促進していきます。 | 環境課 |
| 100 | 5-1-3 ① 指導者の育成 | ・環境学習や体験学習、環境保全活動への協力を進め、環境等に関する指導者の養成研修への参加支援をはじめ、市の市民活動養成研修など環境保全活動指導者の育成に努めていきます。 | 環境課 |
| 101 | 5-2-1 ① 環境フォーラムの開催 | ・行政や市内外の環境活動団体、市民等との交流を深め、市民等の環境に関する意識啓発と環境ネットワークづくりを進めていくために、「しもつけ環境市民会議」が開催する環境フォーラム(年1回)の支援をおこなっていきます。 | 環境課 |
| 102 | 5-2-1 ③ 環境ネットワークの形成 | ・各課で把握している市民等の環境に関する取組や活動情報を共有化し、有機的な連携が図れるように努めていきます。 | 環境課 |
| 103 | 5-2-2 ① しもつけ環境市民会議の活動支援 | ・「しもつけ環境市民会議」による環境フォーラムなどの開催をはじめ、市民団体との連携によるエコイベントの実施、環境保全活動など、環境交流や環境ネットワークづくりの支援を進めていきます。 | 環境課 |
| 104 | 5-3-2 ① 「しもつけの環境」の発信 | ・環境についての調査・測定結果をはじめ、計画の進みぐあいなどを「しもつけの環境」としてとりまとめ市民に情報発信・提供します。また、市民等の取組状況や環境保全活動に関する事例を収集し発信します。 | 環境課 |

第IV編 市の取組

※ 担当課別一覧表

| 番号 | 担当課 | 取組 | 内容 |
|----|-----------------------------------|---|---|
| 1 | 農政課 | 1-1-1 ① 生物多様性への理解の向上 | ・ 生物多様性についての環境学習会、自然観察会、見学会など、市民団体と連携した啓発事業を継続的に進めていきます。 |
| 2 | | 1-1-1 ② 生物生息状況の調査 | ・ 本市や周辺地域の野生動植物の生育・生息状況について調査を進め、生物多様性に関する情報の蓄積と整備に努めていきます。 |
| 3 | | 1-1-1 ③ 生物生息環境の保全と再生 | ・ 平地林・里山・水辺の保全・再生と一体的に生息環境の保全・再生を進めていきます。 |
| 5 | | | ・ 特定外来生物などの外来種調査と対策をはじめ、有害鳥獣被害対策などを進めていきます。 |
| 6 | | 1-1-2 ① 平地林・屋敷林の保全と管理 | ・ 実態調査を踏まえ平地林マップを作成し、本市の平地林の情報発信、マップをもとにした平地林保全管理・整備活動を進めます。 |
| 7 | | | ・ 元気な森づくり推進事業による平地林の保全と管理を進めていきます。また、関連するエコイベントや保全活動を進めていきます。 |
| 8 | | 1-1-3 ① 自然とのふれあい空間(場)の整備 | ・ 日常生活の中で自然とふれあえる場の整備を進めていきます。 (例)・ 河川敷での菜の花・シモツケ草の植栽、桜ロードづくり、農地の景観形成(ひまわり、コスモス)事業、市民農園など、都市と農村の交流が図れる場の提供 |
| 14 | | 1-2-2 ① 水道水源の保全 | ・ 農薬の適正使用徹底や減農薬の推進など、農薬や化学肥料散布に伴う環境負荷の低減を進めていきます。 |
| 18 | | 1-3-1 ① 地産地消の推進 | ・ 地産地消に関する情報の発信、消費者と生産者の交流づくりを進めていきます。 |
| 19 | | | ・ 農畜産物などの加工・販売・PRの支援を進め、農業の6次産業化を図っていきます。 |
| 20 | | 1-3-1 ② 食のブランド化 | ・ 下野市産農畜産物のブランド化や地域特産品の生産と普及を支援していきます。 |
| 23 | | 1-3-2 ① 環境保全型農業の推進 | ・ 安全・安心な農産物の持続的な生産を支える農地・水・環境の保全と向上のため、農薬などの適正使用の徹底や減農薬など環境保全型農業推進事業を進めていきます。 |
| 31 | | 1-4-2 ② 個性豊かなまちなみ整備、景観づくり | ・ 畦畔や水辺などでのひまわり、コスモスの植栽など、農地の景観づくりを進めていきます。 |
| 40 | | 2-1-1 ② 騒音・振動、悪臭など生活公害対策の推進 | ・ 堆肥化施設の管理及び堆肥散布の適正化、家畜排泄物の適正管理と環境保全対策を進めていきます。 |
| 92 | 4-3-1 ② 緑に囲まれた環境負荷の少ないまちづくりの推進 | ・ 緑化団体活動への補助、緑化の推進(緑の募金、苗木の配布、フォトコンテスト)など緑化推進事業を進めていきます。また、市民等による街路樹や公園の管理活動の推進と支援を進めていきます。 | |

| | | | | |
|----|-----|---------------------------------------|---|---|
| 4 | 建設課 | 1-1-1 ③ 生物生息環境の保全と再生 | ・ 水辺や水生生物の生息環境の保全と再生に配慮した河川の保全管理などに努めていきます。 | |
| 10 | | 1-2-1 ② 水循環機能(地下水かん養・保水機能など)の保全・再生 | ・ 地域の健全な水循環を支える平地林や農地、水辺の環境保全機能の保全と向上に努めていきます。また、雨水の地下浸透対策を進めていきます。 (例)・ 地下水かん養機能や雨水の保水機能、自然浄化機能などの保全と向上 ・ 道路や歩道、駐車場などの透水性舗装、宅地や市街地での雨水浸透柵の設置など | |
| 11 | | 1-2-1 ③ 国・県及び流域市町村との連携の推進 | ・ 国や県、周辺市町と連携し、水質の監視と改善など河川の保全管理や、地盤沈下防止に向けた取組を進めていきます。 | |
| 30 | | 1-4-2 ② 個性豊かなまちなみ整備、景観づくり | ・ 地域の個性あるまちなみづくりを支援していきます。 (例)・ 地域の特性を踏まえた生垣づくりの奨励、電線の地下埋設 ・ 自治会の花の選定、花木の植栽、フラワーロードづくりなど ・ 公園やサイクリングロードの整備など | |
| 34 | | 2-1-1 ① 大気環境の保全 | ・ 幹線道路及び生活道路の整備など、円滑な交通の流れの形成による環境負荷の低減を進めていきます。 | |
| 36 | | 2-1-1 ② 騒音・振動、悪臭など生活公害対策の推進 | ・ 生活道路などの道路騒音対策を進めていきます。 | |
| 41 | | | ・ 良好なまちなみの形成やエネルギー消費量の低減、ホテルなど野生生物の生息環境の保全に向け、過剰な電飾看板の抑制、夜間照明の適正化と間引き照明などの啓発を進めていきます。 | |
| 50 | | 2-2-2 ① 歩道・遊歩道の整備 | ・ 歩道や歩道と一体となった遊歩道及び散策路の確保など、歩行者通行に配慮した道路網整備を進めていきます。 | |
| 53 | | 2-2-2 ③ 安心して歩ける歩行環境の確保 | ・ 駅周辺におけるバリアフリーの整備、放置自転車の撤去など、安心して歩ける快適な歩行者通行の確保を図っていきます。 | |
| 93 | | 4-3-2 ① 移動のエコ化 | ・ 市民等が気楽で安全に自転車を利用できるまちづくりを検討し、自転車利用環境の充実を進めていきます。 | |
| 95 | | 4-3-2 ② 施設・建物などの省エネ化 | ・ 道路、歩道、駐車場などの省エネルギー対策、環境負荷の少ない安全な歩行環境づくりを進めます。 | |
| 9 | | 水道課 | 1-2-1 ① 水環境の啓発 | ・ 水環境や水道の重要性についての啓発など、水環境に対する理解と環境配慮を進めていきます。 |
| 13 | | | 1-2-2 ① 水道水源の保全 | ・ 水道水源の保全を進めていきます。 |
| 62 | | | 2-3-1 ① 放射線情報の提供 | ・ 国・県や周辺市町と連携し、空間放射線測定やモニタリング結果の情報公開を進めていきます。 |

| | | | |
|----|-----|--------------------------------------|--|
| 12 | 環境課 | 1-2-1 ③ 国・県及び流域市町村との連携の推進 | ・国や県、周辺市町と連携し、水質の監視と改善など河川の保全管理や、地盤沈下防止に向けた取組を進めています。 |
| 32 | | 2-1-1 ① 大気環境の保全 | ・県による大気環境の測定への協力、県との連携による事業所への指導徹底に努め、ダイオキシン類、ベンゼンなど有害大気汚染物質の適正管理について啓発と対策を進めています。 |
| 35 | | | ・アスベスト問題に対する情報提供など市民・事業者への周知、建築物の解体及び廃棄に際しての法令周知と遵守に努めています。 |
| 37 | | 2-1-1 ② 騒音・振動、悪臭など生活公害対策の推進 | ・生活道路などの道路騒音対策を進めています。 |
| 38 | | | ・近隣騒音・振動の防止に向けた啓発、公共施設での騒音・振動対策、特定事業所や特定建設作業への公害関係法の順守や指導の徹底に努めています。 |
| 39 | | | ・事業所からの悪臭防止対策への指導、戸別配水処理施設や水路・側溝などの悪臭対策を進めています。 |
| 42 | | 2-1-1 ③ 水質汚濁の防止 | ・県と連携した河川・水路などの水質調査や監視の強化、公共施設からの放流水質の適正管理、工場・事業所への排水検査の徹底や排水対策の指導の徹底に努めています。 |
| 44 | | | ・生活排水対策として、下水道加入促進のための啓発、浄化槽の活用・維持管理徹底、し尿及び浄化槽汚泥の有効活用などを進めます。 |
| 45 | | 2-1-1 ④ 土壌・地下水汚染の防止 | ・県との連携により土壌・地下水汚染状況を把握し、有害物質の埋立てや堆積による土壌の汚染や土砂などの崩落、飛散・流出による災害の発生防止に向けた規制と監視を充実させて事業所への指導を進めています。 |
| 46 | | 2-1-2 ① 県・関係市町村との連携による環境の監視と指導の推進 | ・国、県と連携し大気や水質などの環境状況調査や調査結果などの情報提供を進め、事故発生時などの環境汚染の監視・調査、事業所への指導徹底に努めています。 |
| 47 | | 2-1-2 ② 関係市町村との連携による環境保全対策の推進 | ・事業所の事故や汚染物質の不適正管理などによる汚染物質の漏洩、異常水質の発生などに際しては、関係機関との連携による拡大防止に努めています。 |
| 48 | | | ・新幹線沿線の騒音・振動測定を実施し、関係自治体と連携によるJRへの騒音対策などの要望を進めています。 |
| 49 | | 2-2-1 ① ごみの散乱防止、不法投棄の防止 | ・環境美化条例の周知と啓発、空き缶などのポイ捨て防止や自転車の放置の禁止、不法投棄防止パトロールの強化など不法投棄防止に努めています。 |
| 60 | | 2-2-3 ③ 減災対策の推進 | ・災害時廃棄物処理対策の確立に努めています。 (例)・災害廃棄物の一時仮置き場の確保 ・広域的な連携による災害廃棄物処理体制づくり ・他地域での災害発生時への速やかな支援体制整備など |
| 61 | | 2-3-1 ① 放射線情報の提供 | ・国・県や周辺市町と連携し、空間放射線測定やモニタリング結果の情報公開を進めています。 |
| 65 | | 3-1-1 ① ごみ減量意識の普及・啓発 | ・ごみの減量・リサイクル、ごみ出しマナーやルールに関する情報の発信・提供を進め、市民等のごみ問題への関心とごみ減量意識の啓発、ごみ出しルールの徹底に努めています。 |

| | | | |
|----|--|--|--|
| 66 | | | |
| 67 | | | |
| 68 | | | |
| 69 | | | |
| 70 | | | |
| 71 | | | |
| 72 | | | |
| 73 | | | |
| 75 | | | |
| 76 | | | |
| 77 | | | |
| 78 | | | |
| 79 | | | |
| 80 | | | |
| 83 | | | |
| 84 | | | |

| | |
|--------------------------------|---|
| 3-1-1 ② ごみになるものの削減 | 簡易包装、マイバッグ利用、レジ袋削減キャンペーンなどの実施により、ごみ削減への意識啓発を行います。 |
| 3-1-1 ③ 生ごみの発生抑制と減量化 | ・家庭用生ごみ堆肥化への支援や剪定枝の分別収集などにより、ごみの堆肥化やエネルギー資源としての利用を推進します。 |
| 3-1-2 ① リユースの推進、リユース容器の活用 | ・家庭などで使用された家具や器具、衣類などの再使用を進めています。また、市民間でのリユース・リサイクルを促進していきます。 |
| 3-1-2 ② 家具や家電など製品の修理使用の推進 | ・小山広域保健衛生組合や事業者との連携協力により自転車や家具、家電、おもちゃを修理再生し再使用を進めています。 |
| 3-2-1 ① 分別の徹底など | ・石橋地区と南河内・国分寺地区での分別内容の統一、分別のための勉強会・実施体験の開催など、分別収集内容の周知と分別の徹底に努めています。 ・行政カレンダーや分別マニュアル(分別早見表)などの作成と提供により、ごみ・資源物の分別排出の徹底を進めています。 |
| 3-2-1 ② 資源回収のしくみづくり・収集体制の構築 | ・自治会などの各団体による集団資源回収は、ごみの減量やリサイクルへの意識が高められることから、資源回収報償金制度による支援と広報誌による参加・実施の呼びかけを継続します。 ・公共施設を活用した拠点回収システムの検討と資源物の拠点回収を進めています。また、家庭から出た廃食用油など廃棄物のエネルギー資源として有効活用していきます。 ・分別収集品目ごとの収集量や排出状況などを踏まえ、家庭系ごみの適切な収集や運搬方法を検討していきます。収集運搬コストの節減に向けた効率的な収集運搬体制の整備を進めています。 |
| 3-2-1 ③ リサイクルプラザなどの整備 | ・ストックヤード及び粗大ごみ処理施設(リサイクルセンター)の整備を進めています。 |
| 3-2-2 ① 廃棄物処理への理解と向上 | ・小山広域保健衛生組合の一般廃棄物処理基本計画及びごみ処理施設建設基本構想、下野市一般廃棄物処理基本計画などの計画を推進していきます。また、社会情勢の変化などに対応した見直しを進めています。 ・廃棄物排出状況などの情報の提供、廃棄物処理に関する勉強会、見学会の開催と支援、廃棄物会計の公表など、市民、事業者への廃棄物処理対策への理解の向上に努めています。 ・公平なごみ処理費用の負担、排出者責任による処理をめざし、社会情勢や動向を踏まえ、家庭系ごみ有料化のあり方や有料化に合わせて実施すべき施策についての検討、事業系ごみについて周辺自治体の動向を踏まえた処理手数料改定の検討をおこないます。 |
| 4-1-1 ① 節電など省エネ意識の普及 | ・省エネナビなど家庭や家電の消費電力の把握(見える化など)を進め、節電など省エネ行動の普及と省エネチャレンジ意識の啓発を図っていきます。 (例)・県主催省エネチャレンジにおける下野市分の取組結果の公表 ・環境家計簿の作成、節電アクション取組への表彰と事例発信など |
| 4-1-1 ② 省エネ行動(エコライフ)の推進 | ・省エネ講座や実践体験などのエコイベントや環境学習の場の提供、広報紙や市のホームページでの情報発信など省エネ意識の啓発をおこない、市民等と事業者の環境配慮(行動)指針(別添資料参照)による省エネ行動への取組を進めます。 ・事業者向け環境配慮(行動)指針及び下野市役所地球温暖化対策実行計画により、市役所及び関係施設での省エネ対策を進めます。 |

| | | | |
|-----|-------|-------------------------------|---|
| 86 | | 4-1-2 ② 省エネ型製品の活用促進 | ・下野市グリーン調達推進方針による環境配慮物品などの調達を進めていきます。 |
| 99 | | 5-1-2 ① 環境保全活動への参加促進 | ・市民団体や関係機関との連携(環境ネットワーク)を強化し、環境保全活動に関する情報を発信することにより市民等の環境保全活動への参加を促進していきます。 |
| 100 | | 5-1-3 ① 指導者の育成 | ・環境学習や体験学習、環境保全活動への協力を進め、環境等に関する指導者の養成研修への参加支援をはじめ、市の市民活動養成研修など環境保全活動指導者の育成に努めていきます。 |
| 101 | | 5-2-1 ① 環境フォーラムの開催 | ・行政や市内外の環境活動団体、市民等との交流を深め、市民等の環境に関する意識啓発と環境ネットワークづくりを進めていくために、「しもつけ環境市民会議」が開催する環境フォーラム(年1回)の支援をおこなっていきます。 |
| 102 | | 5-2-1 ③ 環境ネットワークの形成 | ・各課で把握している市民等の環境に関する取組や活動情報を共有化し、有機的な連携が図れるように努めていきます。 |
| 103 | | 5-2-2 ① しもつけ環境市民会議の活動支援 | ・「しもつけ環境市民会議」による環境フォーラムなどの開催をはじめ、市民団体との連携によるエコイベントの実施、環境保全活動など、環境交流や環境ネットワークづくりの支援を進めていきます。 |
| 104 | | 5-3-2 ① 「しもつけの環境」の発信 | ・環境についての調査・測定結果をはじめ、計画の進みぐあいなどを「しもつけの環境」としてとりまとめ市民に情報発信・提供します。また、市民等の取組状況や環境保全活動に関する事例を収集し発信します。 |
| 15 | 総務人事課 | 1-2-2 ② 節水や雨水の有効活用など水資源の保全 | ・使用水の循環利用・雨水貯留槽や雨水タンクによる雨水の有効活用などを進めていきます。 |
| 33 | | 2-1-1 ① 大気環境の保全 | ・低環境負荷型自動車の公用車への計画的な導入と普及、エコドライブの普及を進めていきます。 |
| 82 | | 4-1-1 ① 節電など省エネ意識の普及 | ・公共施設や事業所での電力管理システムの導入など、エネルギー使用の効率化、電力需要の抑制と節電、電力消費量の削減を進めていきます。 |
| 85 | | 4-1-1 ② 省エネ行動(エコライフ)の推進 | ・事業者向け環境配慮(行動)指針及び下野市役所地球温暖化対策実行計画により、市役所及び関係施設での省エネ対策を進めます。 |
| 87 | | 4-1-2 ② 省エネ型製品の活用促進 | ・市役所及び関連施設の発光ダイオード(LED)照明への切り替え、新たに建設する施設での導入を進めていきます。また、家庭や事業所での導入を進めていきます。 |
| 16 | 健康増進課 | 1-3-1 ① 地産地消の推進 | ・地産地消に関する情報の発信、消費者と生産者の交流づくりを進めていきます。 |
| 17 | 商工観光課 | 1-3-1 ① 地産地消の推進 | ・地産地消に関する情報の発信、消費者と生産者の交流づくりを進めていきます。 |
| 21 | | 1-3-1 ② 食のブランド化 | ・下野市産農畜産物のブランド化や地域特産品の生産と普及を支援していきます。 |
| 22 | | 1-3-1 ③ 観光推進による地域資源の活用と保全 | ・自然、歴史・文化遺産、特産品や環境に配慮した取組を「魅力ある観光資源」として有効活用し、観光の振興を図っていきます。 |

| | | | |
|----|-------|-----------------------------------|--|
| 28 | | 1-4-2 ① 良好な景観の保全、景観の発見 | ・地域の良好な景観を発見し、景観の保全と活用に努めていきます。また、しもつけの自然環境や歴史、文化、くらしや産業に対する理解の形成を図っていきます。 |
| 89 | | 4-1-2 ② 省エネ型製品の活用促進 | ・市役所及び関連施設の発光ダイオード(LED)照明への切り替え、新たに建設する施設での導入を進めていきます。また、家庭や事業所での導入を進めていきます。 |
| 24 | 都市計画課 | 1-3-2 ② 環境に配慮した事業活動の推進 | ・公共事業や開発などの立案・実施に際して、稀少な動植物の生息環境の保護・保全、良好な自然環境の保全と再生など、計画段階からの環境配慮と適切な対策の推進に努めていきます。 |
| 29 | | 1-4-2 ① 良好な景観の保全、景観の発見 | ・都市計画マスタープランや関係計画による良好なまちなみの保全と創造を進めていきます。 |
| 59 | | 2-2-3 ③ 減災対策の推進 | ・災害に強い安全なまちづくりを進めるため、木造住宅耐震診断及び木造住宅耐震改修の支援に努めていきます。 |
| 90 | | 4-3-1 ② 緑に囲まれた環境負荷の少ないまちづくりの推進 | ・緑の豊かな環境負荷の少ないまちづくりを進めていきます。 |
| 91 | | | ・緑化団体活動への補助、緑化の推進(緑の募金、苗木の配布、フォトコンテスト)など緑化推進事業を進めていきます。また、市民等による街路樹や公園の管理活動の推進と支援を進めていきます。 |
| 25 | 文化財課 | 1-4-1 ① 歴史的・文化的環境の保全と啓発 | ・歴史・文化遺産及び周辺の自然環境や歴史的・文化環境の保存と活用を進め、地域の歴史文化を発信していきます。 |
| 26 | | | ・史跡の清掃活動や各種イベントの開催など、地域の歴史文化とふれあえる機会の充実と啓発を進めていきます。 |
| 27 | 学校教育課 | 1-4-1 ② 自然共生の歴史や文化の発信 | ・ボランティアによる各種イベントの開催、市内に伝えられてきた伝説や民話、くらしの知恵などの収集と発信など下野ふるさと大発見の取組を進めていきます。 |
| 63 | | 2-3-1 ① 放射線情報の提供 | ・国・県や周辺市町と連携し、空間放射線測定やモニタリング結果の情報公開を進めていきます。 |
| 96 | | 5-1-1 ① 環境教育の推進・支援 | ・関係機関と連携し、環境に係る学校教育のサポートを進めていきます。また、自然とふれあえる学習や特色ある環境教育活動を推進していきます。 |
| 97 | | | ・給食への安全・安心な下野市産農畜産物の活用や家庭におけるリユースビンの活用など、家庭と学校が連携した食育を進めていきます。 |
| 98 | | | ・しもつけの環境や環境学習に関する調査研究、教職員研修、社会科副読本などの編集など、教育研究所の運営を進めていきます。 |
| 43 | 下水道課 | 2-1-1 ③ 水質汚濁の防止 | ・生活排水対策として、下水道加入促進のための啓発、浄化槽の活用・維持管理徹底、し尿及び浄化槽汚泥の有効活用などを進めます。 |
| 51 | 安全安心課 | 2-2-2 ② 自転車道や自転車通行帯の確保 | ・自転車駐車場の管理、駅周辺での放置自転車対策を進めていきます。 |

| | | | |
|----|-------|--------------------------------|---|
| 54 | | 2-2-3 ① 自然災害への認識共有 | ・ 防災マップなど、自然災害に関する情報提供を進めていきます。 |
| 55 | | | ・ 地域の地形・地象、気象、自然災害の履歴など、自然環境の特性についての環境学習機会の充実と参加の促進、自然災害についての認識の共有化を図っていきます。 |
| 56 | | 2-2-3 ② 適正な土地利用の推進 | 市街地の空家増加に伴い、空家対策を進めていきます。 |
| 57 | | 2-2-3 ③ 減災対策の推進 | ・ 定期的な防災訓練や自治会単位の防災組織の整備、地域ごとの自主防災マップづくりや高齢者の独居世帯の把握と孤立させないネットワークづくりなど、災害に対する安全安心の確保を図っていきます。 |
| 88 | | 4-1-2 ② 省エネ型製品の活用促進 | ・ 市役所及び関連施設の発光ダイオード(LED)照明への切り替え、新たに建設する施設での導入を進めていきます。また、家庭や事業所での導入を進めていきます。 |
| 94 | | 4-3-2 ① 移動のエコ化 | ・ 公共交通の利便性の向上、デマンドバス(お出かけ号)活用の普及、新交通システムの研究を進めていきます。 |
| 52 | 教育総務課 | 2-2-2 ③ 安心して歩ける歩行環境の確保 | ・ 通学路の危険箇所の整備及びスクールガードボランティアの育成による子どもたちの通学路の安全確保に努めていきます。 |
| 64 | | 2-3-1 ② 環境汚染状況の把握、除染対策の推進 | ・ 食品など、事業者の自主的な放射性物質の測定と放射能表示を促進していきます。 |
| 81 | | 4-1-1 ① 節電など省エネ意識の普及 | ・ 公共施設や事業所での電力管理システムの導入など、エネルギー使用の効率化、電力需要の抑制と節電、電力消費量の削減を進めていきます。 |
| 58 | 高齢福祉課 | 2-2-3 ③ 減災対策の推進 | ・ 定期的な防災訓練や自治会単位の防災組織の整備、地域ごとの自主防災マップづくりや高齢者の独居世帯の把握と孤立させないネットワークづくりなど、災害に対する安全安心の確保を図っていきます。 |
| 74 | | 3-2-1 ② 資源回収のしくみづくり・収集体制の構築 | ・ ごみ出しが困難で近隣の協力を得られない、高齢世帯や障害者に配慮したごみ収集を進めます。 |

市が進めていく取組の環境指標

| 1-1 多様な生物と共生する豊かな里の保全と再生 | | | | | | | 担当課 |
|--------------------------|------------|---------|-------|----|----|----|-----|
| 環境指標 | 農業体験学習補助件数 | | | | | | 農政課 |
| | 計画策定時 | H30 | R元 | R2 | R3 | R4 | |
| 取組のめやす | — | 17件(R4) | | | | | |
| 補助件数 | 16件(H28) | 16件 | 16件 | | | | |
| 達成状況 | — | 94.1% | 94.1% | | | | |

| 1-2 大地がはぐくむ豊かな水と健全な水循環の保全と再生 | | | | | | | 担当課 |
|------------------------------|-------------|---------|-------|----|----|----|-----|
| 環境指標 | 水道事業における有収率 | | | | | | 水道課 |
| | 計画策定時 | H30 | R元 | R2 | R3 | R4 | |
| 取組のめやす | — | 毎年87%以上 | | | | | |
| 有収率 | 86.8%(H28) | 81.4% | 81.8% | | | | |
| 達成状況 | — | 未達成 | 未達成 | | | | |

| 1-3 環境にやさしい産業の推進 | | | | | | | 担当課 |
|------------------|---------------|-------|--------|----|----|----|-----|
| 環境指標 | 農産物の下野ブランド認定数 | | | | | | 農政課 |
| | 計画策定時 | H30 | R元 | R2 | R3 | R4 | |
| 取組のめやす | — | 5(R4) | | | | | |
| 認定数 | 4(H28) | 4 | 5 | | | | |
| 達成状況 | — | 80.0% | 100.0% | | | | |

| 1-4 良好な景観と歴史文化がかおるまちづくり | | | | | | | 担当課 |
|-------------------------|-----------------|---------|-----|----|----|----|-------|
| 環境指標 | 「しもつけの伝説」の年間販売数 | | | | | | 学校教育課 |
| | 計画策定時 | H30 | R元 | R2 | R3 | R4 | |
| 取組のめやす | — | 毎年10冊以上 | | | | | |
| 年間販売数 | 29冊(H28) | 79冊 | 75冊 | | | | |
| 達成状況 | — | 達成 | 達成 | | | | |

市が進めていく取組の環境指標

| 2-1 さわやかで澄んだ大気や水の保全と向上 | | | | | | | 担当課 |
|------------------------|------------------------|---------|-------|----|----|----|-------|
| 環境指標 | 公用車として使用される低環境負荷型自動車台数 | | | | | | 総務人事課 |
| | 計画策定時 | H30 | R元 | R2 | R3 | R4 | |
| 取組のめやす | — | 17台(R4) | | | | | |
| 台数 | 16台(H28) | 12台 | 15台 | | | | |
| 達成状況 | — | 70.6% | 88.2% | | | | |

| 2-2 安心してくらせる安全で快適な生活環境の確保 | | | | | | | 担当課 |
|---------------------------|--------------|-------------|---------|----|----|----|-----|
| 環境指標 | 歩道設置道路延長 | | | | | | 建設課 |
| | 計画策定時 | H30 | R元 | R2 | R3 | R4 | |
| 取組のめやす | — | 74,000m(R4) | | | | | |
| 道路延長 | 71,500m(H28) | 71,701m | 72,009m | | | | |
| 達成状況 | — | 96.9% | 97.30% | | | | |

| 3-1 ごみゼロ社会の形成 | | | | | | | 担当課 |
|---------------|------------------------------|-------------------------|-----------------------|----|----|----|-----|
| 環境指標 | 家庭用生ごみ処理機器等設置費補助金の年間交付件数 | | | | | | 環境課 |
| | 計画策定時 | H30 | R元 | R2 | R3 | R4 | |
| 取組のめやす | — | 機械式15件(R4) コンポスト20件(R4) | | | | | |
| 補助金交付件 | 機械式11件(H28) コンポスト16件(H28) | 機械式11件 コンポスト10件 | 機械式18件 コンポスト13件 | | | | |
| 達成状況 | — | 機械式73.3% コンポスト50.0% | 機械式120% コンポスト65.0% | | | | |

| 3-2 資源が循環するしくみづくり | | | | | | | 担当課 |
|-------------------|-------------|-------------|-----------|----|----|----|-----|
| 環境指標 | 家庭の廃食用油の回収量 | | | | | | 環境課 |
| | 計画策定時 | H30 | R元 | R2 | R3 | R4 | |
| 取組のめやす | — | 6,300kg(R4) | | | | | |
| 回収量 | 未実施(H28) | 914.7kg | 1,318.5kg | | | | |
| 達成状況 | — | 14.5% | 20.90% | | | | |

市が進めていく取組の環境指標

| 4-1 省エネの推進 | | | | | | | 担当課 |
|------------|------------|---------|--------|----|----|----|-----|
| 環境指標 | 環境家計簿の診断件数 | | | | | | 環境課 |
| | 計画策定時 | H30 | R元 | R2 | R3 | R4 | |
| 取組のめやす | — | 60件(R4) | | | | | |
| 診断件数 | 未実施(H28) | 8件 | 22件 | | | | |
| 達成状況 | — | 13.3% | 36.70% | | | | |

| 4-2 創エネ・蓄エネの推進 | | | | | | | 担当課 |
|----------------|--------------------|---------|-------|----|----|----|-----|
| 環境指標 | 再生可能エネルギーについての啓発回数 | | | | | | 環境課 |
| | 計画策定時 | H30 | R元 | R2 | R3 | R4 | |
| 取組のめやす | — | 年4回(R4) | | | | | |
| 啓発回数 | 年2回(H28) | 年2回 | 年2回 | | | | |
| 達成状況 | — | 50.0% | 50.0% | | | | |

| 4-3 環境負荷の少ないまちづくりの推進 | | | | | | | 担当課 |
|----------------------|--------------------|-------------|---------|----|----|----|-------|
| 環境指標 | デマンドバス(お出かけ号)の利用者数 | | | | | | 安全安心課 |
| | 計画策定時 | H30 | R元 | R2 | R3 | R4 | |
| 取組のめやす | — | 41,500人(R4) | | | | | |
| 利用者数 | 23,554人(H28) | 22,401人 | 22,703人 | | | | |
| 達成状況 | — | 54.0% | 54.7% | | | | |

市が進めていく取組の環境指標

| 5-1 環境学習・環境保全活動の推進 | | | | | | | 担当課 |
|--------------------|-----------------------|---------|-------|----|----|----|-----|
| 環境指標 | 給食に使用している下野ブランド農産物品目数 | | | | | | 農政課 |
| | 計画策定時 | H30 | R元 | R2 | R3 | R4 | |
| 取組のめやす | — | 5品目(R4) | | | | | |
| 品目数 | 4品目(H28) | 4品目 | 4品目 | | | | |
| 達成状況 | — | 80.0% | 80.0% | | | | |

| 5-2 環境パートナーシップの形成 | | | | | | | 担当課 |
|-------------------|-------------|----------|----|----|----|----|-----|
| 環境指標 | 環境フォーラム来場者数 | | | | | | 環境課 |
| | 計画策定時 | H30 | R元 | R2 | R3 | R4 | |
| 取組のめやす | — | 100人(R4) | | | | | |
| 来場者数 | 70人(H28) | 50人 | 中止 | | | | |
| 達成状況 | — | 50.0% | — | | | | |

| 5-3 環境調査・環境情報の整備と発信 | | | | | | | 担当課 |
|---------------------|----------------|---------|-----|----|----|----|-----|
| 環境指標 | 「しもつけの環境」の情報発信 | | | | | | 環境課 |
| | 計画策定時 | H30 | R元 | R2 | R3 | R4 | |
| 取組のめやす | — | 年1回(R4) | | | | | |
| 発信状況 | 年1回(H28) | 年1回 | 年1回 | | | | |
| 達成状況 | — | 達成 | 達成 | | | | |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

1-1-1 生物多様性の保全と再生

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・生物多様性についての環境学習会、自然観察会、見学会など、市民団体と連携した啓発事業を継続的に進めていきます。 |
|------|---|

1 実施担当課(農政課)

| | |
|-------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画(具体的な取り組み) | 地域共同による農用地、水路、農道等の地域資源の基礎的な保全活動や、景観形成活動(花木等の植栽)、生態系保全活動(生き物調査)などの実施 |
| 実施予定日 | 7月～10月 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | トウサワトラノオの保護とその生育環境を守る活動(梅雨明けの7月に保全地の草刈り及び枯草の搬出作業を実施) また、雑草対策としてかんがい期(5月～8月)の保全地への湛水の水管理や、除草剤の散布を実施。5月下旬の総会後に観察会を実施。 |
| 実施日 | 5月～10月 |
| 取組に対する評価 | 子どもの自然に親しむ機会が減少している今日、生態系保全活動(生き物調査)の希少な実体験を通し、生態系や生物の多様性について理解を深める活動を行うことができた。 |

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・本市や周辺地域の野生動物植物の生育・生息状況について調査を進め、生物多様性に関する情報の蓄積と整備に努めていきます。 |
|------|---|

2 実施担当課(農政課)

| | |
|-------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画(具体的な取り組み) | 地域共同による農用地、水路、農道等の地域資源の基礎的な保全活動や、生態系保全活動(生き物調査)などの実施 |
| 実施予定日 | 7月～10月 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | 地域共同による農用地、水路、農道等の地域資源の基礎的な保全活動や、景観形成活動(花木等の植栽)、生態系保全活動(生き物調査)などの実施 |
| 実施日 | 5月～10月 |
| 取組に対する評価 | 子どもの自然に親しむ機会が減少している今日、生態系保全活動(生き物調査)の希少な実体験を通し、生態系や生物の多様性について理解を深める活動を行うことができた。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・平地林・里山・水辺の保全・再生と一体的に生息環境の保全・再生を進めていきます。 |
|------|--|

3 実施担当課(農政課)

| | |
|-------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画(具体的な取り組み) | 天平の丘公園の管理を含め、県の補助事業を活用した地蔵山、児山城跡及び上台の通学路の保全管理を実施していく。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | 天平の丘公園の管理を含め、県の補助事業を活用した地蔵山、児山城跡及び上台の通学路の保全管理を実施していく。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 本市の平地林保全管理や、整備活動を進める事ができた。 |

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・水辺や水生生物の生息環境の保全と再生に配慮した河川の保全管理などに努めていきます。 |
|------|--|

4 実施担当課(建設課)

| | |
|-------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画(具体的な取り組み) | 水生生物の生息環境の保全を目的とした河川公園の草刈り、樹木剪定、清掃の実施。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | 生物の生息環境の保全に配慮しながら、管理者やシルバー人材センターに業務委託し、河川公園の樹木剪定等を実施した。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 適正な管理が水生生物の生息環境の保全につながっていると考える。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・特定外来生物などの外来種調査と対策をはじめ、有害鳥獣被害対策などを進めています。 |
|------|---|

5 実施担当課(農政課)

| | |
|-----------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取組み) | 下野市鳥獣被害防止計画に基づいた有害鳥獣被害対策(下野市有害鳥獣駆除隊との業務委託契約、下野市野生鳥獣被害対策連絡協議会の開催等)を実施する。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 特定外来生物などの外来種調査と対策をはじめ、有害鳥獣被害対策などを進めています。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 今年度は実施計画の他に、下野市有害鳥獣駆除隊の設立や業務委託契約の締結など、市の有害鳥獣被害対策の推進を図ることができた。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

1-1-2 平地林・里山・水辺の保全と管理

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・実態調査を踏まえ平地林マップを作成し、本市の平地林の情報発信、マップをもとにした平地林保全管理・整備活動を進めます。 |
|------|---|

6 実施担当課(農政課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取組み) | 地域森林計画の対象森林台帳により森林の位置を確認し、地図を作成する。 |
| 実施予定日 | 随時 対象森林台帳により森林マップ作成 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 実態調査を踏まえ平地林マップを作成し、本市の平地林の情報発信、マップをもとにした平地林保全管理・整備活動を進めます。 |
| 実施日 | 令和2年1月 対象森林台帳により森林マップ作成 |
| 取組に対する評価 | 計画通りに実施できた。 |

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・元気な森づくり推進事業による平地林の保全と管理を進めています。また、関連するエコイベントや保全活動を進めています。 |
|------|--|

7 実施担当課(農政課)

| | |
|-----------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取組み) | ・市イベントにて木工教室を開催 ・上台・細谷地区の通学路沿いにおいて、下草刈りを実施 ・小学校において木工教室を開催 |
| 実施予定日 | ・木工教室：10月(産業祭)・1月(消費者まつり) ・通学路下草刈り：9月 ・小学校木工教室：1月～2月各小学校 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | ・木工教室：10月(産業祭・万能台づくり)参加者50名、 2月(消費者まつり・組子コースターづくり)参加者29名 ・通学路下草刈り：9月 ・小学校木工教室：1月～2月各小学校 100キット配布 |
| 実施日 | ・木工教室 令和元年10月21日、令和2年2月2日 |
| 取組に対する評価 | 計画通りに実施できた。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

1-1-3 自然とのふれあいの推進

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・日常生活の中で自然とふれあえる場の整備を進めていきます。 (例)・河川敷での菜の花・シモツケ草の植栽、桜ロードづくり、農地の景観形成(ひまわり、コスモス)事業、市民農園など、都市と農村の交流が図れる場の提供 |
|------|---|

8 実施担当課(農政課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 農村環境保全会において、地域資源である農地にコスモス等の植栽を行う。 |
| 実施予定日 | ・6月～9月:植栽作業 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 農村環境保全会において、農地にコスモスの植栽を行い開放することで、自然とふれあえる場を提供した。 |
| 実施日 | 6月～9月:植栽作業 |
| 取組に対する評価 | 植栽活動により地域の景観形成を行い、自然とふれあえる場を整備することができた。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

1-2-1 健全な水環境の保全と再生

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・水環境や水道の重要性についての啓発など、水環境に対する理解と環境配慮を進めていきます。 |
|------|--|

9 実施担当課(水道課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | ・市内全小学校の4年生による水道施設見学会の実施 ・リクエスト講座による「下野市の水」の説明 ・下野のおいしい水の販売 ・下野水道ニュースの発信 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 1. 市内全小学校の4年生の水道施設見学会を実施した。 2. リクエスト講座 3. 下野のおいしい水「夕顔のしずく」を道の駅しもついで販売し安全性をPRした。 4. 「下野水道ニュース」を公民館、図書館、公共施設等に、自由に持ち帰れるよう設置した。(500枚) また、ホームページへ掲載。 |
| 実施日 | 1. 5月20日・30日、6月3日・17日・20日・21日・25日、7月2日・5日・10日 2. 5月31日 3. 随時販売 4. 6月、10月発行 |
| 取組に対する評価 | 1.市内全小学4年生において、全て予定どおり実施することができた。 |

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・地域の健全な水循環を支える平地林や農地、水辺の環境保全機能の保全と向上に努めていきます。また、雨水の地下浸透対策を進めていきます。 (例)・地下水かん養機能や雨水の保水機能、自然浄化機能などの保全と向上 ・道路や歩道、駐車場などの透水性舗装、宅地や市街地での雨水浸透樹の設置など |
|------|--|

10 実施担当課(建設課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 道路側溝・浸透樹の清掃を行い、雨水処理の維持管理を実施。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 道路側溝清掃 2,886m、浸透樹清掃10箇所 道路側溝整備 1,374m、浸透樹設置1箇所、浸透槽設置4箇所 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 道路側溝及び浸透樹の清掃により、本来の機能を回復した。 道路側溝及び浸透樹の設置により、水溜問題の解消につながり、生活環境が向上した。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・国や県、周辺市町と連携し、水質の監視と改善など河川の保全管理や、地盤沈下防止に向けた取組を進めていきます。 |
|------|--|

11 実施担当課(建設課)

| | |
|-----------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 河川公園管理・市内12か所。年2回定期点検、適時除草や美化活動 砂ヶ原球場管理・年間7回点検。年間1回クリーン作戦 姿川・年間1回クリーン作戦実施 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 河川公園管理・市内12か所。年2回定期点検、適時除草や美化活動 砂ヶ原球場管理・年間7回点検。年間1回クリーン作戦 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 河川公園、河川周辺施設の適正な維持管理により、河川の環境美化に努めた。 |

12 実施担当課(環境課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 水質汚濁防止法及び県条例に基づき、流出事故等への対応、指定揚水施設届出受付業務を継続する。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 水質汚濁公害について、市民等からの通報やパトロール等により、発生状況の早期確認や発生元への適切な指導等の対応を行った。「水質汚濁防止法」や「栃木県生活環境の保全等に関する条例」に基づき、県をはじめとする関係機関と連携し、河川における油流出事故等に対応した。指定揚水施設届出の受付業務を行った。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 県等との連携による対応の結果、河川等への油流出事故における被害の拡大を防ぐことができた。 引き続き、用水施設届出の受付業務や油流出事故等への対応を実施していく。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

1-2-2 豊かな水資源の保全と活用

| | |
|------|-------------------|
| 取組項目 | ・水道水源の保全を進めていきます。 |
|------|-------------------|

13 実施担当課(水道課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | ・水道水の定期的な水質検査の実施 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 水道水源の定期的な水質検査 ・毎月実施 …………… 配水施設6箇所(9項目) 一般細菌、大腸菌、塩化物イオン、有機物(全有機炭素量TOC)、pH値、味、臭気、色度、濁度 ・四半期ごとに実施 …… 配水施設6箇所(27項目) 一般細菌、大腸菌、亜硝酸態窒素、シアン化物イオン及び塩化シアン、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、ホウ素及びその化合物、1,4ジオキサン、塩素酸、クロロ酢酸、クロロホルム、ジクロロ酢酸、ジブロモクロロメタン、臭素酸、総トリハロメタン、トリクロロ酢酸、プロモジクロロメタン、プロモホルム、ホルムアルデヒド、アルミニウム及びその化合物、塩化物イオン非イオン界面活性剤、有機物(全有機炭素(TOC)の量)、pH値、味、臭気、色度、濁度 ・年1回実施 …………… 配水施設6カ所(51項目) 上記27項目の他、カドミウム及びその化合物、水銀及びその化合物、セレン及びその化合物、鉛及びその化合物、六価クロム及びその化合物、亜硝酸態窒素、フッ素及びその化合物、四塩化炭素、ジクロロメタン、テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、ベンゼン、亜鉛及びその化合物、鉄及びその化合物、銅及びその化合物、ナトリウム及びその化合物、マンガン及びその化合物、カルシウム・マグネシウム等、蒸発残留物、陰イオン界面活性剤、フェノール類、シス-1, 2-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン、ジェオスミン、2-メチルイソボルネオール |
| 実施日 | 4月12日、5月22日、6月17日、7月16日、8月19日、9月10日、10月21日、11月18日、12月17日、1月20日、2月17日、3月9日 |
| 取組に対する評価 | 計画通り検査を実施し、全て既定範囲内の数値を確認できた。 |

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・農業の適正使用徹底や減農薬の推進など、農業や化学肥料散布に伴う環境負荷の低減を進めていきます。 |
|------|--|

14 実施担当課(農政課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 生産組織等がフェロモン剤・生物農薬や微生物農薬の利用による広域防除、農家の農薬被ばく減少、減農薬に取り組み、産地の確立とイメージアップに要する経費の補助を実施する。 |
| 実施予定日 | 補助金交付 3月 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 低農薬栽培支援事業 3団体 |
| 実施日 | 補助金交付決定 3月 |
| 取組に対する評価 | 環境保全型農業に取り組み農業者を支援できた。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・使用水の循環利用・雨水貯留槽や雨水タンクによる雨水の有効活用などを進めています。 |
|------|---|

15 実施担当課(総務人事課)

| | |
|-----------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取組み) | 新庁舎整備にあたって雨水貯留槽を整備し、トイレなど雑排水への雨水の有効活用を実施した。 |
| 実施予定日 | 平成28年5月6日開庁 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 昨年度と同様に、庁舎では雨水を貯留してトイレ(大便器・小便器)の洗浄水として有効活用に取り組んだ。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 計画通り取り組むことができた。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

1-3-1 地域資源を活かした産業の推進

| | |
|------|--------------------------------------|
| 取組項目 | ・地産地消に関する情報の発信、消費者と生産者の交流づくりを進めています。 |
|------|--------------------------------------|

16 実施担当課(商工観光課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取組み) | 下野ブランドフェアの開催 下野ブランド認定品を一堂に会し、市内外の方に下野ブランドをPRするイベントを実施する |
| 実施予定日 | 令和元年9月29日 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | しもつけ道の駅研修室を会場に下野ブランドフェアを開催した。 |
| 実施日 | 令和2年2月2日 |
| 取組に対する評価 | 2,000人の来場者があり、市内外に下野ブランドの認知度が上がった。 |

17 実施担当課(農政課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取組み) | ・地産地消推進計画、食育推進計画をホームページに掲載し、周知を図る。 ・学校給食用に各学校で購入した地元農畜産物の費用に対し、児童生徒一人当たり300円の補助材料費として助成し、地元農畜産物の良さを児童生徒や保護者にPRする。 |
| 実施予定日 | 令和元年6月～令和2年2月 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 学校給食への地元農産物(かんぴょう)の活用について助成事業を実施した。 児童生徒総数 4,781名、助成額 1,434,300円 |
| 実施日 | 令和元年6月～令和2年2月 |
| 取組に対する評価 | 学校給食を通じて、市内児童生徒及び保護者に地元農畜産物の良さをPRでき、食育の一助となった。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

| | |
|-----------------------------|---|
| 18 | 実施担当課(健康増進課) |
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 道の駅もつげの月別野菜売上を基にし、消費者にとって利用しやすい旬の野菜レシピを作成し、下記において紹介、配布 ①直売所、道の駅、市庁舎、保健センター2か所、公民館4か所、図書館3か所、生涯学習情報センター、ふれあい館 ②健康増進課での各種健康教室、乳幼児健診、両親学級、健診結果説明会、病態別栄養相談等 ③市ホームページへの掲載 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | ①年8回実施。また、今まで作成した旬の野菜レシピを季節ごとにまとめたレシピ集を作成した。 ②全体で62回、両親学級、健診結果説明会、病態栄養相談、健康教室等でレシピを配布。 ③ホームページの掲載方法を見直し、今までのレシピも季節ごとにまとめることで、市民が検索しやすくなった。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 今までの旬の野菜レシピ集を季節ごとに集約し、食事バランスや朝食摂取の重要性を取り入れた総レシピ集を作成した。野菜料理摂取の向上や旬の食材を献立に取り入れるなど地産地消を推進することができた。 |

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・農畜産物などの加工・販売・PRの支援を進め、農業の6次産業化を図っていきます。 |
|------|--|

| | |
|-----------------------------|---|
| 19 | 実施担当課(農政課) |
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 農業者による新メニュー開発等を支援する。 |
| 実施予定日 | メニュー開発支援 随時 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 料理講習会の実施 |
| 実施日 | 令和2年2月 |
| 取組に対する評価 | 新メニュー開発の一助として、下野市農村生活研究グループ協議会において料理講習会を実施した。 |

| | |
|------|---------------------------------------|
| 取組項目 | ・下野市産農畜産物のブランド化や地域特産品の生産と普及を支援していきます。 |
|------|---------------------------------------|

| | |
|-----------------------------|---|
| 20 | 実施担当課(農政課) |
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 農業者による新メニュー開発等を支援する。 |
| 実施予定日 | メニュー開発支援 随時 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 料理講習会の実施 |
| 実施日 | 令和2年2月 |
| 取組に対する評価 | 新メニュー開発の一助として、下野市農村生活研究グループ協議会において料理講習会を実施した。 |

| | |
|-----------------------------|---|
| 21 | 実施担当課(商工観光課) |
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 新規ブランド品の認定 認定品のブランド力強化補助 市ブランドのPRを図るイベントの開催 |
| 実施予定日 | 認定審査会: 令和2年2月 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 下野ブランド推進プランの改訂を行い新たな審査基準等を定めた。 |
| 実施日 | 令和2年3月 |
| 取組に対する評価 | 今後新たな認定基準により、更なるブランド力強化に努める。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・自然、歴史・文化遺産、特産品や環境に配慮した取組を「魅力ある観光資源」として有効活用し、観光の振興を図っていきます。 |
|------|---|

22 実施担当課(商工観光課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取組み) | ・天平の丘公園を活用する、煤の少ない蠟燭を灯す夏のイベント「しもつけ燈桜会」開催。 ・天平の丘公園を活用する、自然と文学、史跡を巡るイベント開催。 |
| 実施予定日 | 令和元年8月23・24・25日(しもつけ燈桜会) 令和元年9月～11月(自然と史跡を巡るイベント) |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 計画どおり「しもつけ燈桜会」を開催し、3日間で7,500人の来場者があった。 自然と文学、史跡巡りのイベントは開催しなかった。 |
| 実施日 | 令和元年8月23日・24日・25日 |
| 取組に対する評価 | 新たなイベントを開催したことにより、下野市の認知度が上がった。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

1-3-2 環境に配慮した産業の推進

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・安全・安心な農産物の持続的な生産を支える農地・水・環境の保全と向上のため、農業などの適正使用の徹底や減農薬など環境保全型農業推進事業を進めていきます。 |
|------|--|

23 実施担当課(農政課)

| | |
|-----------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取組み) | ・エコファーマーの認定者や特別栽培農産物に取り組む農業者を支援する。 |
| 実施予定日 | ・環境保全型農業パンフレットを有機農業農家へ配布 6月 ・補助金交付: 令和2年3月 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | リンクT・チャレンジ支援事業 1名 ・有機JAS法取組支援事業 1団体 ・低農薬栽培支援事業 3件 |
| 実施日 | 補助金交付: 令和2年3月 |
| 取組に対する評価 | 継続して環境保全型農業に取り組む農業者に対し、補助金交付することで支援できた。 |

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・公共事業や開発などの立案・実施に際して、稀少な動植物の生息環境の保護・保全、良好な自然環境の保全と再生など、計画段階からの環境配慮と適切な対策の推進に努めていきます。 |
|------|--|

24 実施担当課(都市計画課)

| | |
|-----------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取組み) | 令和2年度から緑の基本計画を景観計画策定にあわせて、同梱して策定する予定であるため、実施できない。 |
| 実施予定日 | |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 計画を策定するための令和2年度当初予算要求をした。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 策定するための予算を確保することができた。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

1-4-1 歴史的・文化的環境の保全

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・歴史・文化遺産及び周辺の自然環境や歴史的・文化環境の保存と活用を進め、地域の歴史文化を発信していきます。 |
|------|---|

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・ボランティアによる各種イベントの開催、市内に伝えられてきた伝説や民話、くらしの知恵などの収集と発信など下野ふるさと大発見の取組を進めています。 |
|------|--|

| | |
|-------------------------|--|
| 25 実施担当課(文化財課) | |
| 令和元年度の実施計画(具体的な取組み) | ①史跡整備の基礎資料を得るために国指定史跡下野薬師寺跡の発掘調査を実施 ②史跡の範囲確認のために県指定史跡見山城跡の発掘調査を実施 |
| 実施予定日 | ①10月～12月 ②1月～3月 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | ①7月に寺院東辺の確認調査を実施した。 ②見山城跡の第2郭南西側の発掘調査を行い、第2堀の位置を確認した。 |
| 実施日 | ①令和元年7月 ②令和2年2月1日～3月31日 |
| 取組に対する評価 | ②見山城跡の実態解明を進めることができた。 |

| | |
|-------------------------|---|
| 27 実施担当課(学校教育課) | |
| 令和元年度の実施計画(具体的な取組み) | 市役所窓口、グリムの館、薬師寺歴史館などで「下野市ふるさとかるた」や、「下野市の伝説～ふるさとめぐりの旅～」の販売を行い、市内に古くから語り伝えられた伝説や民話、暮らしの知恵の発信を行う。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | 市役所窓口やグリムの館、薬師寺歴史館などで「下野市ふるさとかるた」や、「下野市の伝説～ふるさとめぐりの旅～」の販売を行い、市内に古くから語り伝えられた伝説や民話、暮らしの知恵の発信を行った。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 定常的な発信を行う事ができている。 下野市ふるさとかるた … 35セット 下野市の伝説 … 66冊 |

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・史跡の清掃活動や各種イベントの開催など、地域の歴史文化とふれあえる機会の充実と啓発を進めていきます。 |
|------|---|

| | |
|-------------------------|--|
| 26 実施担当課(文化財課) | |
| 令和元年度の実施計画(具体的な取組み) | ①ボランティアとの共催による下野薬師寺史跡まつりの実施 ②ボランティアとの共催による灯明の会の実施 ③国史跡の区域内にある小学校での除草作業及び体験学習の実施 |
| 実施予定日 | ①下野薬師寺史跡まつり 令和2年3月7日(土)開催予定 ②灯明の会 令和元年9月14日(土) 夜間実施予定 ③除草作業及び体験学習 薬師寺小 6月～11月の間で3回実施予定 国分寺小学校 6月～11月の間で4回実施予定 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | ①コロナウィルス感染拡大防止のため開催延期 ②参加者数250人 ③薬師寺小学校 ①130人②107人③112人 国分寺小学校 97名 |
| 実施日 | ①開催延期(実施日未定) ②9月14日 ③薬師寺小学校(ふるさと学習) 6月27日、10月31日、11月14日 国分寺小学校(里山活動) 12月19日 |
| 取組に対する評価 | ボランティアの協力によって、子どもたちに歴史的・文化的環境を体験する場を提供することができた。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

1-4-2 良好な景観の保全と創造

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・地域の良好な景観を発見し、景観の保全と活用に努めていきます。また、しもつけの自然環境や歴史、文化、くらしや産業に対する理解の形成を図っていきます。 |
|------|--|

28 実施担当課(商工観光課)

| | |
|-----------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取組み) | しもつけフォトコンテストの実施(観光協会) |
| 実施予定日 | 令和元年7月～12月 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | しもつけフォトコンテストの実施(観光協会) 応募総数199点 最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作5点、観光協会賞5点 |
| 実施日 | 令和元年7月1日～12月20日(応募期間) |
| 取組に対する評価 | 入賞作品のうち最優秀賞1点、優秀賞2点についてはポストカードとして一般配布し、市の魅力発信に繋がった。 |

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・都市計画マスタープランや関係計画による良好なまちなみの保全と創造を進めていきます。 |
|------|--|

29 実施担当課(都市計画課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取組み) | 平成31年4月から景観行政団体に移行することにより、景観形成の普及啓発を行い、景観計画策定の準備を進める。 また、普及啓発を進めるため、庁内検討委員会(仮称)を設置する。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 景観計画策定の準備として景観計画策定委員会設置要綱を定めた。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 計画通り進んでいるが、庁内検討委員会については令和2年度より実施する。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・地域の個性あるまちなみづくりを支援していきます。 (例)・地域の特性を踏まえた生垣づくりの奨励、電線の地下埋設化 ・自治会の花の選定、花木の植栽、フラワーロードづくりなど ・公園やサイクリングロードの整備など |
|------|--|

30 実施担当課(建設課)

| | |
|-----------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取組み) | ・道路の緑地帯、空地等に草花の苗、宿根の植付け、花木の苗を植栽し、花と緑のある道路環境の美化を図り、自然環境の保全、道路愛護思想を波及させるため、道路の「花いっぱい事業」を実施 ・小学生による道路愛護活動を行い、学校周辺の道路の美化活動及び緑地帯の花植栽活動を実施 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 愛ロードしもつけ 登録団体44団体、年間6回以上 花いっぱい活動 6団体、参加人数計500人以上 小中学校道路愛護活動 10小中学校。参加人数2, 200人以上 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 道路の緑地帯、空地に草花が植えられていたり各団体で美化活動をするなど個性ある街づくりになっている |

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・畦畔や水辺などでのひまわり、コスモスの植栽など、農地の景観づくりを進めていきます。 |
|------|--|

31 実施担当課(農政課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取組み) | 農村環境保全会において、地域資源である農地、農道などにマリーゴールド等の植栽を行い景観形成活動を実施する。 |
| 実施予定日 | ・6月～9月 植栽作業 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 農村環境保全会において、地域資源である農地、農道などにマリーゴールド等の植栽を行い景観形成活動を実施した。 |
| 実施日 | 6月～9月 植栽作業 |
| 取組に対する評価 | 農村環境保全会において、遊休農地や農道の法面等にマリーゴールドやコスモスの植栽を行い景観づくりを進めることができた。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

2-1-1 大気・水・土壌環境の保全と向上

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・県による大気環境の測定への協力、県との連携による事業所への指導徹底に努め、ダイオキシン類、ベンゼンなど有害大気汚染物質の適正管理について啓発と対策を進めていきます。 |
|------|---|

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・幹線道路及び生活道路の整備など、円滑な交通の流れの形成による環境負荷の低減を進めていきます。 |
|------|---|

| | |
|-------------------------|---|
| 32 実施担当課(環境課) | |
| 令和元年度の実施計画(具体的な取り組み) | 県と連携し、法や県条例に定める特定施設の届出受付、事業所への立ち入り検査を実施し、有害大気汚染物質の適正管理についての啓発を行う。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | 県と連携し、法や県条例で定められた特定施設に係る届出受付業務等を行った。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 法や県条例に基づき、県と連携して、有害大気汚染物質の適正管理についての啓発及び指導を引き続き行っていく。 |

| | |
|-------------------------|--|
| 34 実施担当課(建設課) | |
| 令和元年度の実施計画(具体的な取り組み) | 幹線道路及び生活道路を整備し、円滑な交通の流れを実施。幹線道路及び生活道路の舗装・改良工事を低排出ガス対策型重機を用いて計画的に実施することにより、環境負荷の低減を図る。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | 幹線道路等の整備において、低排出ガス対策型重機を用いて工事を行うことにより、交通渋滞の緩和と環境負荷の低減を図った。 整備路線 3路線(整備中の路線を含む) 整備延長 L = 1,575m |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 整備中の路線も含めて、幹線道路等の整備を実施したことで、円滑な交通の流れを形成した。 |

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・低環境負荷型自動車の公用車への計画的な導入と普及、エコドライブの普及を進めていきます。 |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・アスベスト問題に対する情報提供など市民・事業者への周知、建築物の解体及び廃棄に際しての法令周知と遵守に努めていきます。 |
|------|--|

| | |
|-------------------------|---|
| 33 実施担当課(総務人事課) | |
| 令和元年度の実施計画(具体的な取り組み) | 公用車購入にあたっては国土交通省のJC08モードによる燃費基準(平成27年度燃費基準+10%達成車)を設けるなど環境負荷の少ない自動車を導入する。 |
| 実施予定日 | 軽自動車(バン)4台は令和元年7月、EV小型自動車1台は令和元年9月に購入予定。 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | ①軽自動車 2台(平成27年度燃費基準10%向上達成車)、 ②EV車 1台、 ③軽自動車 2台(令和2年度燃費基準20%向上達成車)、 合計5台を購入した。 |
| 実施日 | ①6月21日 ②6月27日 ③11月22日 |
| 取組に対する評価 | 引き続き、環境負荷の少ない自動車の導入を進めていく。 |

| | |
|-------------------------|---|
| 35 実施担当課(環境課) | |
| 令和元年度の実施計画(具体的な取り組み) | 市民や事業者に対して、広報やホームページによりアスベスト問題に関する情報提供を行う。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | アスベスト被害防止のための安全対策について、ホームページにより周知を行った。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 建築物の解体・改造・補修などを行う事業者に対して、規制対象作業や届出義務について周知することができた。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

| | |
|------|------------------------|
| 取組項目 | ・生活道路などの道路騒音対策を進めています。 |
|------|------------------------|

36 実施担当課(建設課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 幹線道路や生活道路において、傷んだ舗装の大規模な修繕工事を実施することで、車両走行時の騒音低下を図り、道路環境の改善を推進していく。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 幹線道路等の傷んだ舗装の修繕(大規模修繕)を実施することで、車両走行時の騒音低下を図り、道路環境の改善を行った。 大規模修繕 2路線 整備延長 L = 2,115m |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 大規模な舗装修繕により、舗装のクラックが解消され、車両走行時の騒音が低下した。 |

37 実施担当課(環境課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 生活環境保全を目的として、以下のとおり騒音測定を実施する。 ①自動車騒音測定 2か所 ②一般環境騒音測定 3か所 ③新幹線鉄道騒音測定 2か所 |
| 実施予定日 | ①10月～3月 ②1月～3月 ③12月 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 生活環境保全を目的として、以下のとおり騒音測定を実施した。 ①自動車騒音測定 2か所 ②一般環境騒音測定 4か所 ③新幹線鉄道騒音測定 2か所 |
| 実施日 | ①1月22日、1月23日 ②1月14日～17日、1月20日・21日、3月25日・26日 ③12月11日、12月20日 |
| 取組に対する評価 | 自動車騒音、一般環境騒音及び新幹線鉄道騒音について、計画どおり測定を実施し、測定結果は概ね基準値以下で良好であった。今後も引き続き騒音測定を実施し、生活環境の保全に努めていく。 |

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・近隣騒音・振動の防止に向けた啓発、公共施設での騒音・振動対策、特定事業所や特定建設作業への公害関係法の順守や指導の徹底に努めています。 |
|------|--|

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

38 実施担当課(環境課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 法や条例に基づき、騒音・振動に対する対応を継続し、発生防止に向けた啓発や指導の徹底に努める。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 騒音・振動など生活公害の市民からの苦情に対し、「騒音規制法」「栃木県生活環境の保全等に関する条例」に基づき、職員による行為者への指導等対応を実施した。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 騒音苦情 5件 騒音の感じ方や許容量には個人差があり、法の基準のみでは解決できないケースが多く見られるため、今後も注意深く対応していく必要がある。 |

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・事業所からの悪臭防止対策への指導、戸別配水処理施設や水路・側溝などの悪臭対策を進めています。 |
|------|---|

39 実施担当課(環境課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 法や条例に基づき、悪臭に対する対応を継続し、発生防止に向けた啓発や指導の徹底に努める。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 市民からの通報を受け、悪臭発生源と思われる行為者や事業所等に対し、指導等の対応を行った。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 悪臭苦情 2件 発生源が特定でき、関係各所と連携を取り原因者への指導を適切に行うことができた。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・堆肥化施設の管理及び堆肥散布の適正化、家畜排泄物の適正管理と環境保全対策を進めていきます。 |
|------|--|

40 実施担当課(農政課)

| | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取組み) | ・畜産業における悪臭防止対策、消臭剤等購入時一部補助の実施 |
| 実施予定日 | 随時 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数値実績) | 24件の畜産農家から事業申請があった。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 計画通りに実施出来た。 |

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・良好なまちなみの形成やエネルギー消費量の低減、ホテルなど野生生物の生息環境の保全に向け、過剰な電飾看板の抑制、夜間照明の適正化と間引き照明などの啓発を進めていきます。 |
|------|--|

41 実施担当課(建設課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取組み) | 街路灯において、灯具の交換に伴う修繕工事や新設時において、LED照明の切り替えを実施します。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数値実績) | 1箇所 |
| 実施日 | 6月12日 |
| 取組に対する評価 | 微力ながらエネルギー消費量の削減につながった。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・県と連携した河川・水路などの水質調査や監視の強化、公共施設からの放流水質の適正管理、工場・事業所への排水検査の徹底や排水対策の指導の徹底に努めていきます。 |
|------|--|

42 実施担当課(環境課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取組み) | 県と連携して、事業所への立ち入り検査を実施し、法や県条例の順守を指導する。 併せて、水質汚濁公害対策として工業団地等からの排水について4地点での水質調査を実施する。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数値実績) | ・水質汚濁公害対策として、工業団地貯水池等からの排水の水質調査を実施した。 調査地点 下坪山工業団地調整池 1地点、西坪山工業団地調整池 1地点、柴工業団地調整池 1地点、石橋第三工業団地排水姿川落ち口 1地点、天沼用水路及び排水路 3地点 検査項目 生活環境項目 9項目(水素イオン濃度、溶存酸素量、生物化学的酸素要求量、化学的酸素要求量、浮遊物質、大腸菌群数、全窒素、全リン、全亜鉛) 健康項目 12項目(カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、ヒ素、ジクロロメタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、フッ素、ホウ素、銅、全クロム) ・県と連携し、事業所へ立ち入り調査を実施した(9事業所) |
| 実施日 | 工業団地貯水池等水質調査 7月11日、9月25日、12月3日、3月4日 県との工場・事業場立入調査 6月25日、11月5日 |
| 取組に対する評価 | 環境を保全するため、水質汚濁の被害予防等に効果があった。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・生活排水対策として、下水道加入促進のための啓発、浄化槽の活用・維持管理徹底、尿尿及び浄化槽汚泥の有効活用を進めます。 |
|------|---|

43 実施担当課(下水道課)

| | |
|-----------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 市産業祭や県浄化センター施設公開Dayなどのイベントに参加し、施設案内やPR用品の配布等を行いながら下水道の啓発活動を行う。 |
| 実施予定日 | ・市産業祭 令和元年10月 下旬 ・県浄化センター施設公開Day 令和元年11月 月上旬 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | ・市産業祭では、下水道への接続促進と正しい下水道の利用方法について、ポケットティッシュなどを配布しPR活動を行った。 ・県浄化センター施設公開Dayにおいては、449名の来場者に対し、施設探検やクイズへの挑戦及びポップコーンなどを配布し、下水道のさらなる普及促進を図った。 |
| 実施日 | ・市産業祭 令和元年10月27日(日) ・県浄化センター施設公開Day 令和元年11月2日(土) |
| 取組に対する評価 | 市民をはじめ県民の方々に対し、下水道の役割やその重要性について、より深く理解を得られることができた。 |

44 実施担当課(環境課)

| | |
|-----------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 広報やホームページにて合併浄化槽設置費補助金制度のPRを行い、単独浄化槽から合併浄化槽への転換推進を図ることで、水環境の保全に努める。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し生活環境の保全を図るため、また単独浄化槽から合併浄化槽への転換推進を図るため、合併浄化槽設置費補助金の交付を行った。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 今後も市ホームページや広報紙などに補助事業のお知らせ記事を掲載することで、更に制度の周知を図っていく。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・県との連携により土壌・地下水汚染状況を把握し、有害物質の埋立てや堆積による土壌の汚染や土砂などの崩落、飛散・流出による災害の発生防止に向けた規制と監視を充実させて事業所への指導を進めていきます。 |
|------|--|

45 実施担当課(環境課)

| | |
|-----------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 土壌汚染防止のため、市民等からの通報や職員のパトロールにより現場を確認し、発生源の特定や、「土壌汚染対策法」「栃木県生活環境の保全等に関する条例」「下野市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例」に基づき行為者への指導を行う。市条例に基づき、事業許可申請の受付及び許可を行う。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 土壌汚染防止のため、市民等からの通報や職員のパトロールにより現場を確認し、発生源の特定や、「土壌汚染対策法」「栃木県生活環境の保全等に関する条例」「下野市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生防止に関する条例」に基づき行為者への指導を行った。市条例に基づき、事業許可申請の受付及び許可を行った(4件)。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 土砂の埋立て等に関する事業について、県と連携して各種法令に基づいた対応を図ることができた。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

2-1-2 県・関係市町との連携による監視、指導、対策など

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・国、県と連携し大気や水質などの環境状況調査や調査結果などの情報提供を進め、事故発生時などの環境汚染の監視・調査、事業所への指導徹底に努めていきます。 |
|------|---|

46 実施担当課(環境課)

| | |
|-------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画(具体的な取り組み) | 県が実施する地下水水質調査への協力、情報提供を行う。 大気や水質に関する環境汚染事故発生時には、関係機関と連携し、発生源の特定や指導など迅速な措置と対応を行う。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | 県の実施する地下水水質調査で汚染が確認された井戸の周辺地区調査について、対象井戸の選定及び訪問説明を実施した。 また、地下水汚染が確認された井戸の周辺地域住民に対し、汚染状況の周知と飲用指導を実施した。 |
| 実施日 | 6月～8月 |
| 取組に対する評価 | 県との連携により、地下水汚染に対し迅速な対応を図ることができた。地下水汚染が確認された地域について、継続して監視調査を行っていく。 |

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・事業所の事故や汚染物質の不適正管理などによる汚染物質の漏洩、異常水質の発生などに際しては、関係機関との連携による拡大防止に努めていきます。 |
|------|--|

47 実施担当課(環境課)

| | |
|-------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画(具体的な取り組み) | 異常水質事故の発生時には、関係機関と連携し、発生源の特定や指導、被害の拡大防止策を講じ、法や条例に基づいた迅速な措置と対応を行う。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | 市民からの通報を受け、小山環境管理事務所等関係機関と連携し、発生源と見られる行為者や事業所等に対し、職員による指導等の対応を行った。(油流出事故 3件) |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 小山環境管理事務所等の関係機関と連携して対応し、被害の拡大防止に努めることができた。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・新幹線沿線の騒音・振動測定を実施し、関係自治体と連携によるJRへの騒音対策などの要望を進めていきます。 |
|------|--|

48 実施担当課(環境課)

| | |
|-------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画(具体的な取り組み) | 栃木県東北新幹線公害対策連絡会議と連携し、JRIに対し騒音・振動対策への要望を提出する。 市内の新幹線騒音測定を実施する。 |
| 実施予定日 | JRへの要望 3月 新幹線騒音測定 12月 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | 栃木県東北新幹線公害対策連絡会議と連携し、市内の新幹線騒音測定を実施した。 (2地点、各25本の測定を実施) |
| 実施日 | 12月11日、12月20日 |
| 取組に対する評価 | JRへの騒音対策要望や騒音測定実施等、新幹線沿線の環境保全に計画的に取り組むことができた。 |

2-2-1 環境美化の推進

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・環境美化条例の周知と啓発、空き缶などのポイ捨て防止や自転車の放置の禁止、不法投棄防止パトロールの強化など不法投棄防止に努めていきます。 |
|------|--|

49 実施担当課(環境課)

| | |
|-------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画(具体的な取り組み) | ・廃棄物監視員11名による巡回パトロールや投棄物の回収を実施 ・不法投棄頻度の多い場所への防止啓発看板設置 ・広報紙やホームページでの啓発 |
| 実施予定日 | ・廃棄物監視員は年間を通して月8日活動 ・啓発は随時 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | ・不法投棄防止について、広報等に掲載 ・廃棄物監視員12名による市内の不法投棄防止パトロールを実施した。 |
| 実施日 | 廃棄物監視員による不法投棄パトロールを月8日実施 |
| 取組に対する評価 | 土や廃棄物など不法投棄の早期発見に繋がっており、今後も継続していく。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

2-2-2 安心して歩ける歩行環境の整備

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・歩道や歩道と一体となった遊歩道及び散策路の確保など、歩行者通行に配慮した道路網整備を進めていきます。 |
|------|---|

50 実施担当課(建設課)

| | |
|-----------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 安全を配慮した新たな区画線の設置、路肩のカラー舗装の実施。 遊歩道における樹木の剪定の実施。 歩行者等の利便性向上のための、駅周辺のバリアフリーに関する整備計画の推進。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 路肩のカラー舗装の実施 1,623m 区画線の設置 5,138m 遊歩道の街路樹の剪定(下谷田遊歩道、小山用水沿い遊歩道、学校通り、ゆうがお通り、哲学の道) 駅周辺のバリアフリーに関する整備計画の実施 整備計画路線 自治医大駅西口 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 舗装のカラー化や区画線の設置により、歩行者の安全性が向上した。 街路樹の剪定により、歩行者にとって快適な遊歩道となった。 通年の管理により、街路樹の落枝による歩行者への被害がなかった。 バリアフリーに関する整備については、自治医大駅西口において実施設計を実施し、事業進捗を図った。 |

| | |
|------|----------------------------------|
| 取組項目 | ・自転車駐車場の管理、駅周辺での放置自転車対策を進めていきます。 |
|------|----------------------------------|

51 実施担当課(安全安心課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 市内各駅周辺に設置してある自転車駐車場の管理を行うとともに、駅周辺における自転車の放置を防止することにより交通環境を確保し、交通の安全と併せて美観保持を図る。 |
| 実施予定日 | 通年 (1月1日を除く) |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | (駐輪場利用者数) 石橋駅自転車駐車場 153,829人 小金井駅東自転車駐車場 99,053人 自治医大駅東自転車駐車場 114,911人 合計 367,793人 |
| 実施日 | 通年 (1月1日を除く) |
| 取組に対する評価 | 駅周辺の自転車の管理を行ったことにより、通行の危険回避と景観の美化が図れた。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・通学路の危険箇所の整備及びスクールガードボランティアの育成による子どもたちの通学路の安全確保に努めています。 |
|------|---|

52 実施担当課(教育総務課)

| | |
|-----------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | ・通学路の危険箇所の整備及びスクールガードボランティアの育成による子どもたちの通学路の安全確保に努めています。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | ・学校より通学路危険箇所の整備要望を提出後、ヒアリングを行い、その後、安全推進会議により検討 ・スクールガードボランティアの育成 |
| 実施日 | 通学路危険箇所の整備要望依頼 5月22日、ヒアリング実施 9月3日・9月5日、 通学路安全推進会議 10月2日、3月12日 スクールガードボランティア研修 5月13日 |
| 取組に対する評価 | 予定通り行うことができた。 |

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・駅周辺におけるバリアフリーの整備、放置自転車の撤去など、安心して歩ける快適な歩行者通行の確保を図っていきます。 |
|------|--|

53 実施担当課(建設課)

| | |
|-----------------------------|------------------------|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 自治医大駅周辺整備事業の実施。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 地元説明会1回 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 説明会により、事業の進捗を図ることができた。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

2-2-3 防災・減災の推進

| | |
|------|-------------------------------|
| 取組項目 | ・防災マップなど、自然災害に関する情報提供を進めています。 |
|------|-------------------------------|

54 実施担当課(安全安心課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 県による「逃げ遅れ防止リーフレット(仮称)」の全戸配布 |
| 実施予定日 | 令和元年7月 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 県作成の「逃げ遅れ防止啓発リーフレット」を、自治会を通して配布した。 |
| 実施日 | 令和元年7月 |
| 取組に対する評価 | 災害時に避難するタイミングや、日頃からの家庭での備蓄等について啓発することができた。 |

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・地域の地形・地象、気象、自然災害の履歴など、自然環境の特性についての環境学習機会の充実と参加の促進、自然災害についての認識の共有化を図っていきます。 |
|------|---|

55 実施担当課(安全安心課)

| | |
|-----------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 公民館講座などに市職員が出向き、下野市の防災の取組や災害発生時の市の初動態勢などについて説明する。 |
| 実施予定日 | 国分寺公民館 シルバー大学講座:令和元年9月12日(木)予定 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 自主防災組織や自治会等に出向き、防災について講座を行うことができた。 3自主防災組織、2自治会 合計5件 |
| 実施日 | 6月2件、10月1件、12月2件 |
| 取組に対する評価 | 市内の浸水想定区域等、危険個所の確認や、避難の初動、家庭での備蓄などについて啓発することができた。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

| | |
|------|--------------------------|
| 取組項目 | 市街地の空家増加に伴い、空家対策を進めています。 |
|------|--------------------------|

56 実施担当課(安全安心課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 下野市空家対策協議会において「空家等対策の推進に関する特別措置法」のもと、特定空家の認定基準の作成や空家等への措置を協議していく。 |
| 実施予定日 | 空家対策協議会 第8回:令和元年7月 第9回:令和元年9月 第10回:令和元年12月 第11回:令和2年3月 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 下野市空家対策協議会を開催し、特定空家の認定マニュアルを作成した。 |
| 実施日 | 令和2年3月開催 |
| 取組に対する評価 | 特定空家認定が迅速かつ平準的に行うことができるようになった。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・定期的な防災訓練や自治会単位の防災組織の整備、地域ごとの自主防災マップづくりや高齢者の独居世帯の把握と孤立させないネットワークづくりなど、災害に対する安全安心の確保を図っていきます。 |
|------|--|

57 実施担当課(安全安心課)

| | |
|-----------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | ・消防団及び消防署と合同の点検・訓練を実施し、消火活動・水防活動等に必要な知識や技術の習得と連携強化を図る。 ・総合防災訓練として各防災機関の訓練参加や住民・市職員参加の避難訓練を実施する。 |
| 実施予定日 | ・下野市消防団夏季点検 令和元年7月21日(日) ・下野市水防訓練 令和元年9月8日(日) ・下野市消防団通常点検 令和元年11月10日(日) ・下野市総合防災訓練 令和2年2月8日(土) |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 各訓練について予定通り実施することができた。 ○下野市総合防災訓練 参加者 約300名(うち一般参加 約130名) |
| 実施日 | ・下野市消防団夏季点検 令和元年7月21日(日) ・下野市水防訓練 令和元年9月8日(日) ・下野市消防団通常点検 令和元年11月10日(日) ・下野市総合防災訓練 令和2年2月8日(土) |
| 取組に対する評価 | ・消防団、消防署の連携の強化及び消火活動・水防活動の知識・技術の向上を図ることができた。 ・市民及び職員の防災意識の向上を図ることができた。 |

58 実施担当課(高齢福祉課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 65歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者のみ世帯を対象に調査を行い、災害時要支援者の緊急連絡先等の名簿作成しているが、今まではエクセルでの管理のため、加除修正等の変更作業に時間を要したり、非常時のデータ抽出等の作業が非効率的であるため、システムの導入を行う。 |
| 実施予定日 | 令和2年3月 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 避難行動要支援者名簿システムを導入し、エクセルから当システムにデータを移行した。 |
| 実施日 | 令和2年3月 |
| 取組に対する評価 | 情報項目の一部が移行できていないため、継続して移行作業を行っていく必要がある。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・災害に強い安全なまちづくりを進めるため、木造住宅耐震診断及び木造住宅耐震改修の支援に努めていきます。 |
|------|---|

59 実施担当課(都市計画課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 昨年同様、耐震アドバイザー派遣、木造住宅耐震診断、木造住宅耐震改修等の補助事業を引き続き実施するとともに、県と共催による耐震ローラー作戦を実施する。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 【補助金交付実績】 ①木造住宅耐震診断等事業 (耐震診断士が行う耐震診断に要する費用、補助率 2/3、限度額20千円) 3件 ②木造住宅耐震改修等事業 (耐震建替に要した経費(耐震補強設計費を含む、補助率1/2、800限度額千円) 4件 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 木造住宅耐震診断等事業は予定件数9件に対し3件の実績で33.3%、木造住宅耐震改修等事業は予定件数5件に対し4件で80.0%の実施率となった。また、耐震アドバイザー派遣の実績はなかったため、今後、周知・活用促進に努めたい。 |

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・災害時廃棄物処理対策の確立に努めていきます。 (例)・災害廃棄物の一時仮置き場の確保 ・広域的な連携による災害廃棄物処理体制づくり ・他地域での災害発生時への速やかな支援体制整備など |
|------|---|

60 実施担当課(環境課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | ・県の主催する対応訓練や研修会、意見交換会に参加し処理体制の整備を図る。 ・災害廃棄物処理計画策定に向けた調査研究。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 県の主催する「災害時の廃棄物処理に係る初動対応訓練」に参加。【2回】 「災害時の廃棄物処理に係る市町等担当者研修会」へ参加し、県内市町と意見交換を行った。【2回】 |
| 実施日 | 災害時の廃棄物処理に係る初動対応訓練 10月2日、12月12日 災害時の廃棄物処理に係る市町等担当者説明会 10月25日 |
| 取組に対する評価 | 県内自治体との間で、災害時の対応について共通認識を形成することができた。 台風19号に伴い発生した廃棄物を適正に処理できた。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

2-3-1 放射線汚染状況のモニタリングと情報提供

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・国・県や周辺市町と連携し、空間放射線測定やモニタリング結果の情報公開を進めていきます。 |
|------|--|

61 実施担当課(環境課)

| | |
|-----------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 公共施設3か所における空間放射線量の測定を実施し、結果を公表する。 (下野市本庁舎、南河内公民館、石橋公民館) |
| 実施予定日 | 月1回測定(年12回) |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 下野市本庁舎、南河内公民館、石橋公民館にて月1回放射線量の測定を実施し、市ホームページにて結果を公表した。 |
| 実施日 | 月1回測定 |
| 取組に対する評価 | 市内における放射線量の状況について、市ホームページにて公表することで、市民に対し情報提供することができた。 今後も定期的に測定を行い、結果の公表を継続していく。 |

62 実施担当課(水道課)

| | |
|-----------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 配水場(6か所)水道水の放射性物質の検査 対象項目:セシウム134及び137 |
| 実施予定日 | 3か月に1回 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 配水場(6か所)水道水の放射性物質の検査 対象項目:セシウム134及び137 測定方法:ゲルマニウム半導体検出器を用いたガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析法(精密測定) |
| 実施日 | 令和元年9月4日、12月12日 令和2年3月13日 |
| 取組に対する評価 | 測定結果は「検出せず」であった。次年度は年4回の検査を実施する。 |

63 実施担当課(学校教育課)

| | |
|-----------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 市内小中学校を4グループに分け、測定結果を毎週「けやきネット(教育情報ネットワーク)」で公開する。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 市内小中学校を4グループに分け、測定結果を毎週「けやきネット(教育情報ネットワーク)」で公開した。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 市内小中学校を4グループに分け、測定結果を毎週「けやきネット(教育情報ネットワーク)」で公開し、市民へ発信する事ができている。 |

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・食品など、事業者の自主的な放射性物質の測定と放射能表示を促進していきます。 |
|------|--|

64 実施担当課(教育総務課)

| | |
|-----------------------------|---------------------------------------|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 食品など、事業者の自主的な放射性物質の測定と放射能表示を促進していきます。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 給食の材料において、放射性物質の測定を行い、表示した。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 計画通り行うことができた。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

3-1-1 リディースの推進

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・ごみの減量・リサイクル、ごみ出しマナーやルールに関する情報の発信・提供を進め、市民等のごみ問題への関心とごみ減量意識の啓発、ごみ出しルールの徹底に努めていきます。 |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・家庭用生ごみ堆肥化への支援や剪定枝の分別収集などにより、ごみの堆肥化やエネルギー資源としての利用を推進します。 |
|------|--|

65 実施担当課(環境課)

| | |
|-------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画(具体的な取り組み) | 広報やホームページ、アプリにより、ごみに関するルールの周知、ごみ減量化についての啓発を行う。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | 毎月の広報紙に環境トピックスとして、ごみの減量や分別ルールなどについて掲載した。ごみ分別促進アプリ「さんあ〜る」への情報を随時更新し、利用者への分別ルール徹底を促した。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | アプリのダウンロード数が累計3,633件に増加しており、行政カレンダーやルールブック以外の分別ルールを確認する手段として浸透してきている。 |

67 実施担当課(環境課)

| | |
|-------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画(具体的な取り組み) | 生ごみを堆肥化し、ごみの減量化を図るため、家庭用生ごみ処理器購入補助を継続する。機械式 20件、コンポスト 20件 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | 生ごみ処理機等の購入に対し助成事業を実施した。 【機械式3万円、コンポスト容器6,000円上限】 【補助件数 機械式18件 コンポスト13件】 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 補助金助成上限額の増額により、申請件数は昨年度比で増加しているが、計画数に届かなかった。今後は更なるごみ減量への啓発により利用者増を図る。 |

| | |
|------|---|
| 取組項目 | 簡易包装、マイバッグ利用、レジ袋削減キャンペーンなどの実施により、ごみ削減への意識啓発を行います。 |
|------|---|

66 実施担当課(環境課)

| | |
|-------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画(具体的な取り組み) | レジ袋削減推進協議会によるマイバッグキャンペーンを実施します。 |
| 実施予定日 | 実施日未定 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | マイバッグ利用について協力店舗前にてマイバッグキャンペーンを実施 |
| 実施日 | 令和2年2月 |
| 取組に対する評価 | 環境省の「プラスチック資源循環戦略」にレジ袋の有料化が明記されたため、マイバッグキャンペーンなどの実施方法なども含め、レジ袋削減推進協議会の在り方を次年度に改めて検討することとした。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

3-1-2 リユース・リペアの推進

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・家庭などで使用された家具や器具、衣類などの再使用を進めていきます。また、市民間でのリユース・リサイクルを促進していきます。 |
|------|--|

68 実施担当課(環境課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取組み) | 不要となった物をリユースしてもらい廃棄物の発生を抑制するため、広報紙・ホームページを活用し、物が不要となった方から必要とされる方への譲渡を仲介する。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 広報しもつけ及び市HPに不用品リサイクル情報を掲載し、不用となった物の再利用を促進した。 令和元年度成立件数 53件 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 前年度実績(95件)に対して、成立件数は減少している。今後も毎月広報やホームページによる情報掲載を継続し、リユースの促進を図る。 |

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・小山広域保健衛生組合や事業者との連携協力により自転車や家具、家電、おもちゃを修理再生し再使用を進めていきます。 |
|------|--|

69 実施担当課(環境課)

| | |
|-----------------------------|------------------------------|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取組み) | リサイクルセンターによる再生品について、周知啓発を行う。 |
| 実施予定日 | 随時 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | ホームページにてリサイクルセンターの再生品を提示 |
| 実施日 | 随時 |
| 取組に対する評価 | 小山広域保健衛生組合の事業について継続して周知を行う。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

3-2-1 リユース・リサイクルのしくみづくり

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・石橋地区と南河内・国分寺地区での分別内容の統一、分別のための勉強会・実施体験の開催など、分別収集内容の周知と分別の徹底に努めていきます。 |
|------|---|

70 実施担当課(環境課)

| | |
|-----------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取組み) | 平成31年4月からのマテリアルリサイクル推進施設稼働に伴う分別ルール変更について、説明会を開催し、分別ルールの浸透を図る。 |
| 実施予定日 | 随時 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | プラスチック容器包装などの分別について、自治会等1に対して説明会を実施した。 【開催時期4月～10月 開催回数25回 参加者数763名】 |
| 実施日 | 4月～10月 |
| 取組に対する評価 | 施設整備に伴う分別ルールの変更、プラスチック容器包装の判別方法などを説明し、4月からの分別収集ルール浸透を図ることが出来た。 |

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・行政カレンダーや分別マニュアル(分別早見表)などの作成と提供により、ごみ・資源物の分別排出の徹底を進めていきます。 |
|------|--|

71

実施担当課(環境課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取組み) | 行政カレンダー、広報しもつけ、ごみ分別アプリ等により啓発を継続する。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | ・行政カレンダーの配布を行った。【平成31年度版】 ・広報紙の環境トピックスに分別排出の啓発記事を掲載 ・ごみ分別促進アプリ「さんあ〜る」の情報を随時更新し、分別ルールの周知を図った。 |
| 実施日 | 広報記事掲載月【4月、6～10月、12月号】 行政カレンダー及びルールブックは平成31年3月配布 |
| 取組に対する評価 | 平成31年4月からの分別ルール変更に合わせて、周知を図ることができた。分別ルールの周知は今後も随時行っていく。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・自治会などの各団体による集団資源回収は、ごみの減量やリサイクルへの意識が高められることから、資源回収報償金制度による支援と広報誌による参加・実施の呼びかけを継続します。 |
|------|---|

72 実施担当課(環境課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 資源物の集団回収を促進し、再生利用を図り廃棄物の減量化を推進するため、資源物の集団回収団体に対し、回収重量に応じて報奨金を交付する。 回収見込重量: 600t |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 資源回収実施団体に報奨金を交付 集団回収登録団体数 63団体 回収数量 539,516kg |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 報奨金(単価)を増額したが、集団回収団体数及び収集実績が減少しているため、広報等による周知を行うなど団体数増加を促す取組を行う。 |

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・公共施設を活用した拠点回収システムの検討と資源物の拠点回収を進めていきます。また、家庭から出た廃食用油など廃棄物のエネルギー資源として有効活用していきます。 |
|------|---|

73 実施担当課(環境課)

| | |
|-----------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 市庁舎、公民館、生涯学習センターにおける廃食用油の拠点回収を実施する。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 市庁舎、公民館、生涯学習センターで廃食用油の拠点回収を実施した。 総回収量 1,318.5kg |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 回収量は担当課の予想よりは少ないものであった。前年度の途中から開始した事業であるため、制度が市民に浸透していないことも一因と思われる。今後は、広報やホームページ以外の周知方法についても検討する。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・ごみ出しが困難で近隣者の協力を得られない、高齢世帯や障害者に配慮したごみ収集を進めます。 |
|------|---|

74 実施担当課(高齢福祉課)

| | |
|-----------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | ごみ出しが困難な高齢者等<<身体状況により、または親族・近隣の支援を受けることが難しい方>>に見守りを兼ねて家庭ごみの回収を行う。 |
| 実施予定日 | 通年(該当利用者の収集日は週1回) |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | ケアマネージャー等に事業の周知を図り、ごみ出しが困難と思われる高齢者等への利用促進を図り、見守りを兼ねた家庭ごみ回収(声かけふれあい収集事業)を行った。令和元年度実績17人。 |
| 実施日 | 通年(該当利用者の収集日は週1回) |
| 取組に対する評価 | 希望のある方について当事業の利用に結びつけることができた。 |

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・分別収集品目ごとの収集量や排出状況などを踏まえ、家庭系ごみの適切な収集や運搬方法を検討していきます。収集運搬コストの節減に向けた効率的な収集運搬体制の整備を進めていきます。 |
|------|---|

75 実施担当課(環境課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 品目ごとの収集実績整理、委託業者との意見交換会や職員の巡回による排出状況の把握。 |
| 実施予定日 | 随時 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 品目ごとの収集実績整理や職員の巡回による排出状況を確認した。 |
| 実施日 | 随時 |
| 取組に対する評価 | 継続して家庭系ごみの適切な収集や運搬方法を検討していきます。収集運搬コストの節減に向けた効率的な収集運搬体制の整備を進めていきます。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

3-2-2 廃棄物の排出削減と適正処理

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・ストックヤード及び粗大ごみ処理施設(リサイクルセンター)の整備を進めています。 |
|------|--|

| | |
|-------------------------|---|
| 76 | 実施担当課(環境課) |
| 令和元年度の実施計画(具体的な取組み) | リサイクルセンターは平成31年4月から稼働している。リサイクルセンターの稼働情報を随時共有し、必要に応じて市民への周知を行う。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | 平成31年4月から稼働するリサイクルセンターの試運転を実施した。 |
| 実施日 | 平成31年2月1日～3月7日 |
| 取組に対する評価 | 一部のごみを試験的に搬入し処理を行ったことにより、搬入工程を改善することができた。 |

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・小山広域保健衛生組合の一般廃棄物処理基本計画及びごみ処理施設建設基本構想、下野市一般廃棄物処理基本計画などの計画を推進していきます。また、社会情勢の変化などに対応した見直しを進めていきます。 |
|------|--|

| | |
|-------------------------|---|
| 77 | 実施担当課(環境課) |
| 令和元年度の実施計画(具体的な取組み) | 下野市一般廃棄物処理計画の中間見直し(令和3年度)に向け、ごみ発生量などの実績を取りまとめる。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | 下野市一般廃棄物処理基本計画に基づき、一般廃棄物処理実施計画を策定し、ごみの収集運搬や排出方法について定めた。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 一般廃棄物処理実施計画は一般廃棄物処理基本計画に基づき毎年策定するものであり、例年通り策定することができた。一般廃棄物処理基本計画は令和3年度に中間見直しを見込んでいる。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・廃棄物排出状況などの情報の提供、廃棄物処理に関する勉強会、見学会の開催と支援、廃棄物会計の公表など、市民、事業者への廃棄物処理対策への理解の向上に努めていきます。 |
|------|--|

| | |
|-------------------------|---|
| 78 | 実施担当課(環境課) |
| 令和元年度の実施計画(具体的な取組み) | ごみの分別説明会、広報等により本市のごみ排出状況などの周知を行う。小学生とその保護者を対象に、ごみ処理施設と、企業における徹底したごみの分別と再資源化の取り組みを見学する「リサイクルバスツアー」を実施する。 |
| 実施予定日 | 随時 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | 小学生とその保護者と、市民を対象に、ごみ処理施設におけるごみ処理の実態と、企業における徹底したごみの分別と再資源化の取り組みを見学する「リサイクルを考えよう!身近なところのリサイクルバスツアー」を実施した。 参加者数 40名 |
| 実施日 | 小学生等対象 令和元年8月6日 27名 市民対象 令和元年11月16日 13名 |
| 取組に対する評価 | ごみの処理やリサイクルを直に見て学ぶことにより、ごみの分別を習慣化できるよう、今後もバスツアーによる啓発を継続する。 |

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・公平なごみ処理費用の負担、排出者責任による処理をめざし、社会情勢や動向を踏まえ、家庭系ごみ有料化のあり方や有料化に合わせて実施すべき施策についての検討、事業系ごみについて周辺自治体の動向を踏まえた処理手数料改定の検討をおこないます。 |
|------|---|

| | |
|-------------------------|--|
| 79 | 実施担当課(環境課) |
| 令和元年度の実施計画(具体的な取組み) | 家庭系ごみ、粗大ごみなどの有料化について、周辺自治体の情報収集、本市施策についての検討を行う。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | 家庭系ごみ、粗大ごみなどの有料化について、周辺自治体の情報収集、本市施策についての検討を行った。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 継続して、周辺自治体、組合との情報共有化を図り、検討を行う。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

4-1-1 エネルギー消費量の低減

| | |
|------|--|
| 取組項目 | <ul style="list-style-type: none"> 省エネナビなど家庭や家電の消費電力の把握(見える化など)を進め、節電など省エネ行動の普及と省エネチャレンジ意識の啓発を図っていきます。 (例)・県主催省エネチャレンジにおける下野市分の取組結果の公表 ・環境家計簿の作成、節電アクション取組への表彰と事例発信など |
|------|--|

80 実施担当課(環境課)

| | |
|-----------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取組み) | 環境家計簿の普及促進を目的に、環境カウンセラーによる環境家計簿診断を実施する。併せて、広報やホームページを通して節電など省エネ行動の普及・啓発を図る。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 環境家計簿提出者に対して、環境カウンセラーによる診断結果を配付した。 |
| 実施日 | 随時 |
| 取組に対する評価 | 環境家計簿提出件数 14件 イベント開催時や広報紙等で積極的に周知を行った結果、昨年の申請を上回る件数の応募があった。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

| | |
|------|--|
| 取組項目 | <ul style="list-style-type: none"> 公共施設や事業所での電力管理システムの導入など、エネルギー使用の効率化、電力需要の抑制と節電、電力消費量の削減を進めていきます。 |
|------|--|

81 実施担当課(教育総務課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取組み) | <ul style="list-style-type: none"> 公共施設や事業所での電力管理システムの導入など、エネルギー使用の効率化、電力需要の抑制と節電、電力消費量の削減を進めていきます。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 昨年までと同様に学校と連携をとりながら、学校施設空調設備運用マニュアルを遵守するよう指導し、より良い教育環境の充実と環境負荷低減に取り組んだ。 |
| 実施日 | 夏場及び冬場 |
| 取組に対する評価 | 引き続き、エネルギー使用の効率化、電力需要の抑制と節電、電力消費量の削減を進めていく。 |

82 実施担当課(総務人事課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取組み) | <ul style="list-style-type: none"> 新庁舎整備にあたり電力管理システムを導入し、エネルギー使用の効率化、電力需要の抑制と節電、電力消費量の削減に努めた。 |
| 実施予定日 | 平成28年5月6日～ |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 昨年度と同様に、電力管理システムにより、庁舎におけるエネルギー使用の効率化、電力需要の抑制と節電に取り組んだ。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 引き続き、エネルギー使用の効率化、電力需要の抑制と節電を進めていく。 |

環境基本計画第Ⅳ編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・省エネ講座や実践体験などのエコイベントや環境学習の場の提供、広報紙や市のホームページでの情報発信など省エネ意識の啓発をおこない、市民等と事業者の環境配慮(行動)指針(別添資料参照)による省エネ行動への取組を進めます。 |
|------|---|

83 実施担当課(環境課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取組み) | 家庭での省エネ術など、省エネに向けた身近な取り組み方についての講座を実施する。 |
| 実施予定日 | 随時 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | しもつけ環境市民会議の会員向けに、環境カウンセラーによる「家庭の省エネ大作戦」をテーマにセミナーを開催した。その際に、関係団体の市民からも何名か参加いただくことができた。また、環境家計簿提出者に対して、環境カウンセラーによる診断結果を配付した。 |
| 実施日 | 随時 |
| 取組に対する評価 | 市民にわかりやすい内容のセミナーであり、今後はより多くの市民を対象にしたセミナーを開催できるよう進めていきたい。 |

環境基本計画第Ⅳ編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・事業者向け環境配慮(行動)指針及び下野市役所地球温暖化対策実行計画により、市役所及び関係施設での省エネ対策を進めます。 |
|------|--|

84 実施担当課(環境課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取組み) | 下野市役所地球温暖化対策実行計画に基づき、省エネ対策を推進し、市の事務事業におけるエネルギー消費量及CO2排出量を算出する。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 下野市役所地球温暖化対策実行計画に基づき省エネ対策を推進した。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 市の事務事業に伴って発生する温室効果ガスの排出量を削減するための取組を行い、環境負荷の削減に努めることができた。 |

85 実施担当課(総務人事課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取組み) | 新庁舎整備にあたり電力管理システムを導入し、エネルギー使用の効率化、電力需要の抑制と節電、電力消費量の削減に努める。 |
| 実施予定日 | 平成28年5月6日～ |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 昨年度と同様に、電力管理システムにより、庁舎におけるエネルギー使用の効率化、電力需要の抑制と節電に取り組んだ。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 引き続き、エネルギー使用の効率化、電力需要の抑制と節電を進めていく。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

4-1-2 環境に配慮した省エネ型製品の利用促進

| | |
|------|--------------------------------------|
| 取組項目 | ・下野市グリーン調達推進方針による環境配慮物品などの調達を進めています。 |
|------|--------------------------------------|

| | |
|-------------------------|--|
| 86 | 実施担当課(環境課) |
| 令和元年度の実施計画(具体的な取組み) | 「下野市グリーン調達推進方針」に基づき、庁内消耗品等購入の際に環境配慮物品の優先的な調達を行う。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | 「下野市グリーン調達推進方針」に基づき、庁内消耗品等への環境物品等の優先的な調達を行った。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 環境物品調達率 % |

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・市役所及び関連施設の発光ダイオード(LED)照明への切り替え、新たに建設する施設での導入を進めています。また、家庭や事業所での導入を進めています。 |
|------|--|

| | |
|-------------------------|--|
| 87 | 実施担当課(総務人事課) |
| 令和元年度の実施計画(具体的な取組み) | 新庁舎移行に伴ってLED照明の導入を行った。 |
| 実施予定日 | 平成28年5月6日開庁 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | 庁舎照明は建設する際、導入可能な照明は全てLED照明となっているため、切り替えた場所はなかった。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 引き続き、LED照明への切り替えを進めていく。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・市役所及び関連施設の発光ダイオード(LED)照明への切り替え、新たに建設する施設での導入を進めています。また、家庭や事業所での導入を進めています。 |
|------|--|

| | |
|-------------------------|---|
| 88 | 実施担当課(安全安心課) |
| 令和元年度の実施計画(具体的な取組み) | ・LED化していない防犯灯を修繕する際、随時LED防犯灯に交換する。 ・防犯灯を新規設置する際、LED防犯灯を設置する。 |
| 実施予定日 | 通年 (土日祝日及び振替休日、年末年始を除く) |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | ・LED防犯灯新規設置数 78基 ・LED化していない防犯灯修繕時のLED防犯灯への交換数 14基 合計 92基のLED化を実施した。 |
| 実施日 | ・LED防犯灯新規設置工事分割1号 令和元年10月31日完成 ・LED防犯灯新規設置工事分割2号 令和2年2月28日完成 ・LED防犯灯新規設置工事分割3号 令和2年3月24日完成 ・LED防犯灯交換工事 令和元年5月20日～令和2年3月23日 |
| 取組に対する評価 | 防犯灯のLED化を積極的に推進することができた。 |

| | |
|-------------------------|----------------------------|
| 89 | 実施担当課(商工観光課) |
| 令和元年度の実施計画(具体的な取組み) | 天平の丘公園内施設の照明切り替え |
| 実施予定日 | 令和元年度内 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | 公園内駐車場の照明及びトイレ照明のLED化を図った。 |
| 実施日 | 令和元年度内 |
| 取組に対する評価 | 電気使用量の抑制に繋がった。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

4-3-1 快適な気候からなるまちづくりの推進

| | |
|------|-----------------------------|
| 取組項目 | ・緑の豊かな環境負荷の少ないまちづくりを進めています。 |
|------|-----------------------------|

90 実施担当課(都市計画課)

| | |
|-----------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 緑の保全及び適正な維持管理を目標に緑地等一括管理をはじめとする維持管理事業を実施する。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 三王山ふれあい公園に、20本程度の樹木の寄付を受け、植樹した。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 以前から市民や利用者から木が少ないという声があり、植樹できたことで効果が上がった。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・緑化団体活動への補助、緑化の推進(緑の募金、苗木の配布、フォトコンテスト)など緑化推進事業を進めています。また、市民等による街路樹や公園の管理活動の推進と支援を進めています。 |
|------|--|

91 実施担当課(都市計画課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 愛パーク事業への移行を推進しており、平成32年度から公共施設清掃等業務委託(委託料支払いでの美化活動)は、実施しない方針のため実施できない。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 令和元年度で全部の団体が公共施設清掃等委託事業を廃止する前提で、愛パークへの移行を勧奨した。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 公共施設清掃等委託事業を廃止することができ、財政的な負担が減少した。 |

92 実施担当課(農政課)

| | |
|-----------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | ・市内で、街路等を利用した緑や花づくりや、緑地や並木の育成保護等を活動内容とする緑化ボランティア団体に費用の一部を交付。 ・緑の少年団として県に登録し、緑化活動を推進している学校に対し、緑化活動の費用の一部を交付。 |
| 実施予定日 | ・緑化ボランティア補助金 募集期間: 4月～6月 ・緑の少年団補助金 募集期間: 6月 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 春季苗木配布: アジサイ 200本配布 秋季苗木配布: アセビ 200本配布 緑化ボランティア: 8団体、320,000円助成 緑の少年団: 随時 |
| 実施日 | 春季苗木配布: 4月12日 秋季苗木配布: 10月27日 緑化ボランティア: 随時 緑の少年団: 随時 |
| 取組に対する評価 | 苗木配布、各団体への補助金交付を通じて、市内の緑化推進に対し支援できた。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

4-3-2 省エネ・創エネ・蓄エネ型まちづくりの推進

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・市民等が気楽で安全に自転車が利用できるまちづくりを検討し、自転車利用環境の充実を進めていきます。 |
|------|---|

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・道路、歩道、駐車場などの省エネルギー対策、環境負荷の少ない安全な歩行環境づくりを進めます。 |
|------|--|

| | |
|-----------------------------|---|
| 93 実施担当課(建設課) | |
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 道路の早急な維持修繕の実施。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | サイクリングロードのパッチング サイクリングロードの草刈り |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | サイクリングロードの草刈りにより、車幅が確保され、通行のしやすさが向上した。 サイクリングロードのパッチングにより、自転車のパンクや通行に伴う怪我が発生しなかった。 |

| | |
|-----------------------------|--|
| 95 実施担当課(建設課) | |
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 延長 5,163m以上の道路を修繕予定。歩道を含めた道路の利便性を改善し安全な環境づくりを図る。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 生活道路修繕 L = 2,643m 市道大規模修繕 L = 1,740m |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 生活道路修繕及び市道大規模修繕を行うことで、環境負荷の低減を図ることができた。 |

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・公共交通の利便性の向上、デマンドバス(お出かけ号)活用の普及、新交通システムの研究を進めていきます。 |
|------|---|

| | |
|-----------------------------|--|
| 94 実施担当課(安全安心課) | |
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 目標年間利用者数 38,900人 |
| 実施予定日 | 通年 (日曜・祝日及び振替休日、年末年始(12月30日～1月3日)を除く) |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 下野市地域公共交通総合連携計画が令和2年度で終了するため、これに代わる下野市地域公共交通網形成計画(素案)を策定した。 併せて、令和3年度から大きく運行形態を変更する予定のデマンドバスについて、下野市地域公共交通会議において協議した。 |
| 実施日 | 通年 (日曜・祝日及び振替休日、年末年始(12月30日～1月3日)を除く) |
| 取組に対する評価 | 下野市地域公共交通会議で協議しながら、新公共交通計画の素案まで完成することができた。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

5-1-1 環境教育・環境学習の推進

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・関係機関と連携し、環境に係る学校教育のサポートを進めています。また、自然とふれあえる学習や特色ある環境教育活動を推進していきます。 |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・しもつけの環境や環境学習に関する調査研究、教職員研修、社会科副読本などの編集など、教育研究所の運営を進めています。 |
|------|--|

96 実施担当課(学校教育課)

| | |
|-----------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 市内小中学校において学校環境緑化、草花栽培活動、地域のクリーン活動を行う。また、学校独自の活動に対して特色ある教育活動に対する補助金を交付し、その活動に寄与する。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 市内小中学校において学校環境緑化、草花や野菜の栽培活動、地域の落ち葉掃きやゴミ拾いなどのクリーン活動を行った。 |
| 実施日 | 実施日は該当校により異なる |
| 取組に対する評価 | 市内小中学校において学校環境緑化、草花栽培活動、地域のクリーン活動を行うことができている。また特色ある教育活動補助金を交付し、各校の取組を活性化できている。 |

98 実施担当課(学校教育課)

| | |
|-----------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 環境学習に関する研究、社会科副読本の編集を行う。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 社会科副読本活用研究会 7回開催 |
| 実施日 | 5月16日、7月8日、9月3日、10月28日、11月12日、12月10日、1月17日 |
| 取組に対する評価 | しもつけの環境を学ぶ情報が充実し、環境について考えられる資料を提供する事ができている。 |

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・給食への安全・安心な下野市産農畜産物の活用や家庭におけるリユースビンの活用など、家庭と学校が連携した食育を進めていきます。 |
|------|--|

97 実施担当課(学校教育課)

| | |
|-----------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取り組み) | 学校農園や地域の田畑を借用し、実際に児童生徒が野菜の栽培や田植えをし、収穫・調理の体験を行う。 食育だより・・・年2回発行 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数的実績) | 学校農園や地域の田畑を借用し、実際に児童生徒が野菜の栽培や田植えをし、収穫・調理の体験を行った。 食育だより・・・年2回発行 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 家庭と学校が連携した食育、家庭での食育の普及と下野市産農畜産物の活用を進めることができている。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

5-1-2 環境保全活動の推進

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・市民団体や関係機関との連携(環境ネットワーク)を強化し、環境保全活動に関する情報を発信することにより市民等の環境保全活動への参加を促進していきます。 |
|------|---|

99 実施担当課(環境課)

| | |
|-------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画(具体的な取組み) | しもつけ環境市民会議及び参加団体について、広報やホームページでの周知やイベント時(ECOテック&ライフとちぎ、環境フェア等)のブース展示を活用し、情報を提供することで市民の環境保全活動への参加を促す。 |
| 実施予定日 | 通年 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | 広報やイベント時(ECOテック&ライフとちぎ、消費者まつり等)のブース展示を活用し、しもつけ環境市民会議及び参加団体などの活動情報を発信し、市民の環境保全活動への参加を促した。 |
| 実施日 | 通年 |
| 取組に対する評価 | 更に市民の環境保全活動への参加を促すため、ホームページ等も活用しながら継続して発信していく。 |

5-1-3 環境保全活動指導者の育成と活動支援

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・環境学習や体験学習、環境保全活動への協力を進め、環境等に関する指導者の養成研修への参加支援をはじめ、市の市民活動養成研修など環境保全活動指導者の育成に努めていきます。 |
|------|--|

100 実施担当課(環境課)

| | |
|-------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画(具体的な取組み) | 広報やホームページ、下野市の各イベントを通して、地球温暖化防止活動推進員などの広報活動を実施する。 ①産業祭②生涯学習情報センターまつり③消費者まつり④環境フェア |
| 実施予定日 | ①10月 ②10月 ③1月 ④2～3月 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | 下野市の各イベント時に推進員が中心になって行う「COOL CHOICE ススメ隊」、「COOL CHOICE ススメ隊教室」などについての周知をチラシ配布にて行った。 ①産業祭②生涯学習情報センターまつり③消費者まつり④環境フェア |
| 実施日 | ①10月27日 ②10月20日 ③2月2日 ④新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止(3月8日) |
| 取組に対する評価 | 今後は広報やホームページへの掲載等、周知方法を広げ、更なる広報活動を実施する。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

5-2-1 環境交流の促進

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・行政や市内外の環境活動団体、市民等との交流を深め、市民等の環境に関する意識啓発と環境ネットワークづくりを進めていくために、「しもつけ環境市民会議」が開催する環境フォーラム(年1回)の支援をおこなっていきます。 |
|------|---|

101 実施担当課(環境課)

| | |
|-------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画(具体的な取組み) | 「しもつけ環境市民会議」との協働事業として、「しもつけ環境フェア」を開催する。 |
| 実施予定日 | 2～3月頃 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 |
| 実施日 | 3月8日(中止) |
| 取組に対する評価 | 集客力向上のため、通年出展を依頼している団体の他、複数の関連団体・事業者に出展を依頼し、承諾を得て準備を進めていた。また、会場も令和元年度より稼働開始したりサイクルセンターでの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。次回の開催に向け、環境フェアの内容などについて更に調査研究していく。 |

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・各課で把握している市民等の環境に関する取組や活動情報を共有化し、有機的な連携が図れるように努めていきます。 |
|------|--|

102 実施担当課(環境課)

| | |
|-------------------------|--|
| 令和元年度の実施計画(具体的な取組み) | 環境基本計画に基づき市民等との協働で実施している取組について、各課の実績報告をとりまとめ、担当課長で構成する環境基本計画推進委員会に報告し情報の共有化を図る。 |
| 実施予定日 | 8月頃 |
| 令和元年度の実施内容(具体的な取組、数的実績) | 環境基本計画に基づき市民等との協働で実施している取組について、各課の実績報告をとりまとめ、担当課長で構成する環境基本計画推進委員会に報告し情報の共有化を図った。 |
| 実施日 | 7月24日 |
| 取組に対する評価 | 今後も継続して実績報告をとりまとめ委員会で報告し、情報の共有化を図っていく。 |

環境基本計画第IV編実施計画及び実績報告書(令和元年度)

5-2-2 しもつけ環境市民会議との連携

| | |
|------|---|
| 取組項目 | ・「しもつけ環境市民会議」による環境フォーラムなどの開催をはじめ、市民団体との連携によるエコイベントの実施、環境保全活動など、環境交流や環境ネットワークづくりの支援を進めていきます。 |
|------|---|

103 実施担当課(環境課)

| | |
|-----------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取組み) | しもつけ環境市民会議によるエコイベントの実施や参加協力により、市内外の環境団体の相互交流を図る。 ①産業祭②生涯学習情報センターまつり③ECOテック&ライフとちぎ④消費者まつり⑤環境フェア |
| 実施予定日 | ①10月 ②10月 ③12月 ④1月 ⑤2～3月 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数値実績) | 行政、環境活動団体、市民等との連携によるイベントの実施、参加協力など、広い範囲で環境交流の機会を充足し、環境パートナーシップの啓発と普及に努めたことにより、イベント参加者間で相互交流を図ることができた。 |
| 実施日 | ①10月27日 ②10月20日 ③11月30日 ④2月2日 ⑤3月8日(中止) |
| 取組に対する評価 | イベントの開催、参加により環境団体が相互交流を図ることができた。 |

5-3-1 環境情報の整備と発信(調査・公開含む)

| | |
|------|--|
| 取組項目 | ・環境についての調査・測定結果をはじめ、計画の進みぐあいなどを「しもつけの環境」としてとりまとめ市民に情報発信・提供します。また、市民等の取組状況や環境保全活動に関する事例を収集し発信します。 |
|------|--|

104 実施担当課(環境課)

| | |
|-----------------------------|---|
| 令和元年度の実施計画 (具体的な取組み) | 各課の環境基本計画に基づく取組や調査結果などを取りまとめ、環境状況報告書「しもつけの環境」として公表する。 |
| 実施予定日 | 年内に公表予定 |
| 令和元年度の実施内容 (具体的な取組、数値実績) | 「しもつけの環境」により市の環境状況や環境保全の取組を公表した。 |
| 実施日 | 令和2年1月、市ホームページ掲載 |
| 取組に対する評価 | 「しもつけの環境」を市ホームページに掲載し、市民へ環境情報を提供することができた。 |